

主要農作物品種審査会

日 時：令和4年2月9日（水）

午後1時30分から午後3時まで

会 場：県行政庁舎4階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 水 稲

報 告

令和3年度水稻優良品種決定調査成績

資料2

協 議

令和4年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について

資料1

5 大 豆

報 告

令和3年度大豆優良品種決定調査成績

資料3

協 議

(1) 令和4年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について

資料1

(2) 大豆品種「すすみのり（東山231号）」を優良品種に指定することについて

資料1

6 その他

7 閉 会

■配付資料

資料1 審議事項

資料2 水稻 報告事項 令和3年度水稻優良品種決定調査成績

資料3 大豆 報告事項 令和3年度大豆優良品種決定調査成績

資料4 参考資料

出席者名簿

【委員】

役職	氏名	所属及び職名	出欠
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科 教授	出席
副会長	阿部 茂	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長	欠席
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事	出席
委員	高澤 まき子	仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科 教授	欠席
委員	中村 聡	宮城大学食産業学群 教授	出席
委員	鈴木 康則	宮城県農業会議 副会長	出席
委員	加藤 房子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事	出席
委員	大崎 早苗	宮城県農業士会 副会長	出席
委員	宮崎 理子	東北農政局生産部生産振興課 課長補佐	出席
委員	金須 豊洋	宮城県農政部 副部長（技術担当）	出席

【幹事】

役職	氏名	所属及び職名
幹事	齋藤 康彦	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
幹事	八巻 智	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
幹事	北奥 真一	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
幹事	佐々木都彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部長

【事務局等】

役職	氏名	所属及び職名
助言者	伊藤 清	全国農業協同組合連合会宮城県本部米穀部 次長
助言者	阿部 倫則	宮城県古川農業試験場 作物育種部 原種生産チーム 副主任研究員
事務局	島津 裕雄	宮城県古川農業試験場 作物育種部 品種評価チーム 主任研究員
事務局	荒井 雅秀	みやぎ米推進課 部技術副参事兼総括課長補佐
事務局	大村 雄一	みやぎ米推進課生産販売班 技術補佐（班長）
事務局	平 智文	みやぎ米推進課生産販売班 技術主幹（副班長）
事務局	足立 陽子	みやぎ米推進課生産販売班 技術主幹（副班長）
事務局	猪苗代翔太	みやぎ米推進課生産販売班 技師

令和 3 年度主要農作物品種審査会

審 議 事 項

目 次

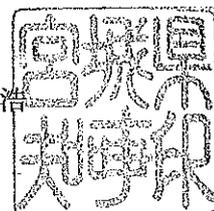
◎ 知事からの諮問	1
1 水稻	
令和4年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について	2
2 大豆	
(1) 令和4年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について	3
(2) 大豆品種「すずみのり（東山231号）」を優良品種に指定することについて	4



みや米第5127号
令和4年1月31日

主要農作物品種審査会会長 殿

宮城県知事 村井 嘉浩



優良品種の指定等について（諮問）

このことについて、主要農作物種子条例（令和元年宮城県条例第59号）第18条の規定により、貴会の意見を求めます。

記

諮問内容

- (1) 大豆品種「すずみのり（東山231号）」を優良品種に指定することについて
- (2) 令和4年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について
- (3) 令和4年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について

担当 農政部みやぎ米推進課
生産販売班 足立

TEL : 022-211-2841 FAX : 022-211-2849

e-mail : adachi-yo632@pref.miyagi.lg.jp

1 水 稻

令和4年度優良品種決定調査に供する品種(稲)について(案)

令和4年度の優良品種決定調査(稲)に供する品種及び系統は下表のとおりとする。

種類	早晩性	本調査	現地調査
うるち	早生	東北237号 (1) (対)やまのしずく (比)あきたこまち	東北237号 (1) (対)やまのしずく
	中生	東北233号 (3) 山形151号 (2) 岩手146号 (1) 福島64号 (1) 東北235号 (3) 東北236号 (1) (対)ひとめぼれ (比)まなむすめ	東北233号 (3) 山形151号 (2) 岩手146号 (1) 福島64号 (1) 東北235号 (3) 東北236号 (1) (対)ひとめぼれ
	晩生	東北238号 (1) 東北239号 (1) (対)つや姫 (比)コシヒカリ	東北238号 (1) 東北239号 (1) (対)つや姫
	巨大胚 中生	東北胚232号 (3) (対)金のいぶき (比)ひとめぼれ	東北胚232号 (3) (対)金のいぶき
計		10	10

注1) (対), (比)はそれぞれ対照品種, 比較品種。

注2) 本調査及び現地調査の()内の数字は供試年数。

注3) 予備調査の供試系統については, 報告事項とします。

2 大 豆

(1) 令和4年度優良品種決定調査に供する品種(大豆)について(案)

令和4年度の優良品種決定調査(大豆)に供する品種及び系統は下表のとおりとする。

区分	早晩性	本調査	現地調査
普通	中生	東山239号 (2) 東北190号 (1) (標) タンレイ	
	中生晩	東北191号 (2) (標) タチナガハ (比) ミヤギシロメ	東北191号 (1) (標) タチナガハ (比) ミヤギシロメ
計		3	1

注1) (標), (比)はそれぞれ対照品種, 比較品種

注2) 本調査及び現地調査の()内の数値は供試年数。

注3) 予備調査の供試系統については, 報告事項とします。

(2)大豆「すずみのり(東山231号)」を優良品種に指定することについて

(1) 採用しようとする品種名

大豆「すずみのり(東山231号)」

(2) 採用する根拠

宮城県優良品種決定基準の1により優良品種として採用する。

(参 考)

宮城県優良品種決定基準

1 優良品種の採用基準

知事は、優良品種に採用する場合には、おおむね次の基準のいずれかを満たしている品種のうち、普及上特に支障となる欠点のないものの中から選択するものとする。

(1) 収量、病虫害抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し、既存の優良品種(以下「対照品種」という。)と比較して明らかに優れていると認められること。ただし、優良品種に採用しようとする品種が、普及対象地域の範囲又は生産物の用途について制限のある場合を妨げない。

(2) 収量、病虫害抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて、対照品種と比較して明らかに優れていると認められること。

2 優良品種の廃止基準 略

(3) 優良品種に指定しようとする理由

平成8年に採用された「タチナガハ」は機械収穫適応性が高く県内大豆作付割合の20%を占めているが、子実の蛋白含有率が低く豆腐の加工適性が低いとされているため、生産量に対し需要が下回る需給ミスマッチが続いており、近年落札残が発生している。また、作付面積も平成29年をピークに漸減傾向となっており、「タチナガハ」より収量・品質が優り、「タチナガハ」の作付を代替出来る品種が求められていた。

「すずみのり(東山231号)」(以後系統番号省略)は、平成26年度から優良品種決定調査で検討した結果、最下着莢高が「タチナガハ」並に高く機械収穫に適する。さらに「すずみのり」は「タチナガハ」より蛋白質含有率が高く、豆腐及び味噌原料として有望である。

以上のことから、県産大豆の需給ミスマッチの解消と安定生産・供給を図り、需者ニーズに応えるために「すずみのり」を優良品種に指定するものである。

(4) 新しく優良品種に指定する品種について

大豆「すずみのり(東山231号)」

イ 来歴

「すずみのり(東山231号)」は平成14年度に長野県中信農業試験場(現 野菜花き試験場)において、長葉で耐倒伏性に優れ、青立ちが少ない中生系統「東山199号」(のちの「タチホマレ」)を母、離裂莢性で高蛋白質の早生系統「東山系X985」(のちの「東山212号」)を父とした人工交配から育成された系統である(図1)。平成15年春にF₁を世代促進し、平成16年、17年に雑種集団から個体選抜を行い、以後、系統選抜法によって選抜・固定を図ってきた。

宮城県では平成26年より「東山231号」の地方番号系統名で配布を受け、奨励(現優良)品種決定調査を行ってきた。

令和2年7月に「すずみのり」として品種登録出願された。

ロ 系譜

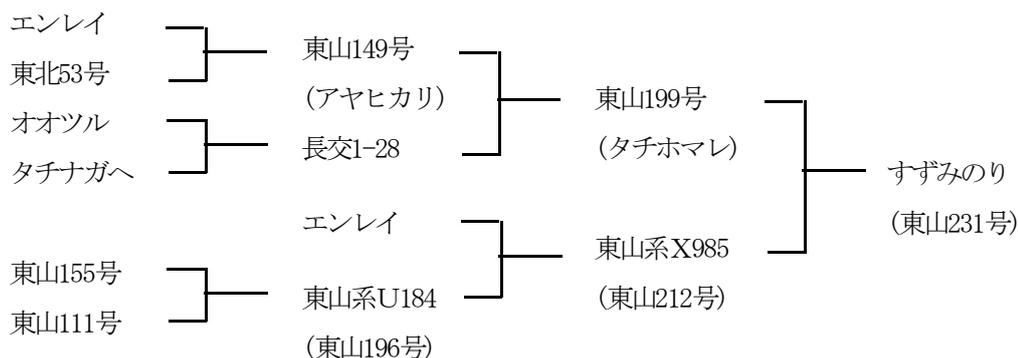


図1 すずみのり(東山231号)の系譜図

ハ 特性一覧表

品 種 名	すずみのり	交配組合せ	東山199号／東山系×985	
特 性	長所 短所	1. 最下着莢高が高く、コハク収穫に適する 2. 標播では「タチガハ」より多収 3. 蛋白質含有率が高く、豆腐や味噌等の加工適性が高い 1. 晩播では「タチガハ」より少収 2. ダイシストセンチュウに弱い		
調 査 地	古川農業試験場			
調 査 年 次	平成26～令和3年			
栽 培 条 件	標播		晩播	
品 種 名	すずみのり	タチナガハ	すずみのり	タチナガハ
開花期(月日)	7/29	7/30	8/9	8/10
成熟期(月日)	10/27	10/29	10/31	11/4
主茎長(cm)	87	83	86	79
最下着莢高(cm)	22.8	21.7	25.4	22.2
主茎節数(節)	16.1	16.1	13.3	13.4
分枝数(本/株)	10.0	9.2	5.8	5.7
小葉の形 [※]	長	長～中	—	—
花色 [※]	紫	紫	—	—
熟莢色 [※]	褐	褐	—	—
裂莢性 [※]	難	中	—	—
耐倒伏性 [※]	強	強	—	—
子実重(kg/a)	48.1	44.3	41.4	45.3
(対比)	109	100	91	100
百粒重(g)	37.4	38.6	36.3	39.0
品質	上の下	中の上	中の上	中の上
粒径 [※]	偏球	楕円体	—	—
種皮色 [※]	黄	黄	—	—
臍色 [※]	黄	黄	—	—
粗タンパク含有率(%)	45.6	43.1	46.7	43.9
粗脂肪含有率(%)	19.3	20.1	18.8	19.4
全糖含有率(%)	21.5	22.2	21.3	22.7
病害虫抵抗性 [※]				
モザイクウイルス病	病原系統 A～Eに抵抗性	中	—	—
ダイシストセンチュウ	弱	弱	—	—
立枯性病害	—	中	—	—
紫斑病	—	強	—	—

注) ※は育成地及び特性検定地における評価。

ニ 特性概要

(イ) 形態的特性

- a 長葉で、主茎長、分枝数及び最下着莢節位高は「タチナガハ」よりやや優る～同等である。
- b 子実の形は偏球で、子実の大きさは「タチナガハ」よりやや小さいが大粒規格に入る。

(ロ) 生態的特徴

- a 開花期は「タチナガハ」並で、成熟期は「タチナガハ」より2～5日早い。
- b 「タチナガハ」より青立ちはやや少ない。
- c 標播では「タチナガハ」より多収であるが、晩播では劣る。
- d ダイズモザイクウイルス病原系統A～Eに“抵抗性”である。ラッカセイわい化ウイルスは“抵抗性”である。
- e 茎疫病の幅広いレースに抵抗性である。
- f 「タチナガハ」と同様にダイズシストセンチュウに弱い。

(ハ) 品質・加工適性

- a 紫斑粒、裂皮粒、しわ粒の発生は、「タチナガハ」と同程度～やや少なく、子実の外観品質は優る。
- b 子実の粗蛋白含有率は、「タチナガハ」よりやや高い。
- c 豆腐、味噌の加工適性は、“好適”，煮豆、納豆の加工適性は“適”で、豆腐、味噌加工適性は「タチナガハ」より優る。

ホ 普及見込み地帯及び面積

(イ) 普及見込み地帯

山間高冷地を除く県下一円

(ロ) 普及見込み面積

1,250ha

(ハ) 「すずみのり」で代替する品種及びその面積

品種名	熟期	令和2年産		令和8年産	
		作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)
すずみのり	中生の晩	—	—	1,250	11.6
タチナガハ	中生の晩	2,462	22.8	1,212	11.2

へ 栽培上の留意点

- (イ) 播種時期は標播が望ましい。
- (ロ) 栽培法は「タチナガハ」に準じる。
- (ハ) ダイズシストセンチュウ抵抗性が“弱”なので、連作を避けるとともに、センチュウ発生ほ場への作付けはしない。

(5) 新しく優良品種に指定しようとする系統の優良品種区分について

イ 大豆「すずみのり(東北231号)」の優良品種区分

大豆「すずみのり(東北231号)」を特定品種として指定する。

ロ 区分の根拠

宮城県主要農作物優良品種区分基準の2及び3による。

(参 考)

○宮城県主要農作物優良品種区分基準(令和2年9月18日決定)

(名称区分)

2 優良品種は次の名称に区分する。

(1) 基幹品種

生産・流通対策上、基幹となる品種

(2) 特定品種

基幹品種を補完する品種

(区分基準)

3 品種の構成は、基幹品種を熟期別に設定し、さらに、これを補完する特定品種を配することとする。

採用については、宮城県主要農作物優良品種区分基準（令和2年9月18日決定）「優良品種の採用基準」1に定めるもののほか、下記の項目に照らし総合的に勘案して決定する。

(1) 基幹品種

生産、流通対策上、基幹となる品種として生産振興を図る必要のある品種

(2) 特定品種

- ア 特定の気象・土壌条件に栽培が適している品種
- イ 特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種
- ウ 作業体系及び各種危険分散の要求を満たす品種
- エ 生産者並びに消費者ニーズ等が特に強い品種
- オ 暫定的に普及が望まれる品種

ハ 区分の理由

「すずみのり(東山231号)」は、蛋白質含有率が高く、豆腐及び味噌等原料として加工適性が高く実需者ニーズに応えられるとともに機械収穫に適し生産者のニーズも満たすものである。

さらに特定品種である「タチナガハ」の作付を一部代替するものである。

以上のことから、「すずみのり(東山231号)」を「優良品種」のうち「特定品種」に区分する。

【優良品種決定調査(基本調査, 現地調査)成績の総括】

イ) タチナガハとの比較 (平成28年～令和3年)

試験場所	播種様式	開花期(日)	成熟期(日)	主茎長(cm)	最下着莢高(cm)	主茎節数(節/本)	分枝数(本/本)	子実重(kg/a)	百粒重(g)	外観品質
大河原	晩播	-1	-4	-2.6	-1.3	-1.6	1.4	-5.0	-2.0	0.0
登米	標播	-1	-1	3.8	2.4	-0.1	-0.4	-3.9	-1.3	0.1
石巻	標播	+0	-4	2.3	1.2	-0.2	0.2	-9.3	-3.5	0.7
古川農試	標播	-1	-2	4.0	1.1	-0.1	0.4	3.8	-1.2	-0.8
〃	晩播	-1	-4	7.0	3.1	-0.1	0.0	-3.9	-2.7	-0.5
平均	標播	-1	-2	3.4	1.6	-0.1	0.1	-3.1	-2.0	0.0
	晩播	-1	-4	2.2	0.9	-0.8	0.7	-4.5	-2.4	-0.3

注) 調査項目について「すずみのり」が対照品種を上回るときは+, 下回るときは-と標記。

開花期・成熟期は早い場合は-, 遅い場合は+と標記した。

外観品質は数値で表現しており対象品種より良好なときは-, 不良な場合は+とした。

ロ) 優良品種決定調査成績

(イ) 基本調査

a. 標播栽培

系統・品種名	試験年次	播種日	開花期	成熟期	倒伏	蔓化	青立	茎長	最下着莢高	主茎節数	分枝数	有効莢数	子実重	標準比	百粒重	外観品質	紫斑病	褐斑病	裂皮	しわ	粗タンパク	粗脂肪	全糖
すずみのり	H26	5/28	7/25	10/19	2.2	0.5	0.2	97	26.7	16.9	11.3	631	53.9	102	38.5	2.0	0	0	0	0	45.9	18.8	21.9
	H27	5/28	7/26	10/24	2.6	0.0	0.1	87	26.2	16.3	9.9	603	43.8	94	39.4	2.0	0	0	0	2	47.1	18.5	22.2
	H28	5/24	7/26	10/20	2.7	0.0	0.0	91	23.2	16.3	13.4	991	75.8	111	35.1	3.0	0	0	1	1	44.3	20.3	21.0
	H29	5/30	7/28	10/28	1.0	0.3	0.2	108	22.9	17.0	10.8	556	42.4	134	39.9	4.8	1	1	0	1	47.0	18.5	21.3
	H30	5/30	7/24	10/18	0.0	0.0	0.7	75	25.2	15.2	7.9	600	38.6	88	33.2	5.3	0	1	1	1	45.6	19.2	20.9
	R1	5/28	8/4	10/21	3.2	-	-	77	-	15.8	7.6	623	47.8	98	34.9	5.0	1	0	1	1	45.3	19.7	21.0
	R2	6/2	8/6	11/1	0.8	0.0	0.5	67	17.1	14.0	9.4	808	31.1	141	33.0	3.3	1	0	1	1	42.7	20.7	21.2
	R3	5/25	7/29	11/19	2.0	0.0	1.0	97	18.0	17.0	9.7	593	51.7	127	44.9	1.8	1	0	1	0	46.5	19.0	22.3
	平均	5/29	7/29	10/27	1.8	0.1	0.4	87	22.8	16.1	10.0	676	48.1	109	37.4	3.4	1	0	1	1	45.6	19.3	21.5
タチナガハ	H26	5/28	7/25	10/19	1.6	0.3	0.3	93	23.8	17.0	10.8	631	52.7		37.6	3.0	0	0	0	1	42.5	19.5	23.3
	H27	5/28	7/29	10/24	2.3	0.0	0.3	83	24.7	17.2	7.5	597	46.4		40.2	3.0	0	0	0	2	44.1	19.2	23.2
	H28	5/24	7/28	10/22	2.2	0.0	0.5	83	17.5	16.6	11.3	858	68.4		38.5	5.0	0	0	3	1	42.4	20.7	21.4
	H29	5/30	7/28	10/27	1.4	0.0	0.2	103	23.4	16.8	9.1	443	31.7		41.2	4.8	0	1	1	1	43.7	19.3	22.4
	H30	5/30	7/25	10/20	0.5	0.0	0.7	68	19.7	14.8	9.6	757	44.0		31.9	5.3	1	0	1	1	43.5	20.1	21.0
	R1	5/28	8/2	10/23	2.5	-	-	68	-	15.3	7.4	640	48.9		39.8	5.3	1	1	1	1	43.4	20.3	21.6
	R2	5/28	8/5	11/11	1.0	0.0	1.0	73	19.5	14.4	8.9	607	22.1		33.6	5.1	1	0	1	1	41.5	21.6	21.6
	R3	5/25	7/30	11/20	0.8	0.0	1.0	93	23.3	17.0	8.7	502	40.6		45.7	1.8	1	0	1	0	43.9	19.8	23.2
	平均	5/28	7/30	10/29	1.5	0.0	0.6	83	21.7	16.1	9.2	629	44.3	(100)	38.6	4.2	1	0	1	1	43.1	20.1	22.2

注1) 倒伏・蔓化・青立程度

0:無 1:微 2:少 3:中 4:多

2) 障害粒

0:無 1:微 2:少 3:中 4:多 5:甚

3) 品質

1:上の上 2:上の中 3:上の下 4:中の上 5:中の中 6:中の下 7:下

b. 晩播栽培

系統・品種名	試験年次	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏 0-4	蔓化 0-4	青立 0-4	莖長 (cm)	最下着莖高 (cm)	主莖節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	有効莖数 (個/m ²)	子実重 (kg/a)	標準比 (%)	百粒重 (g)	外観品質	紫斑病	褐斑粒	裂皮	しわ	粗タンパク (%)	粗脂肪 (%)	全糖 (%)
すずみのり	H26	6/25	8/6	10/26	1.6	0.4	0.6	82	23.1	12.1	4.3	532	47.8	114	37.3	2.0	0	0	0	0	46.3	18.5	21.6
	H27	6/25	8/8	10/27	2.2	0.0	0.7	78	24.0	13.4	6.9	517	36.1	102	37.8	3.0	0	0	0	1	49.2	17.8	21.7
	H28	6/27	8/7	10/26	2.5	0.0	0.4	88	17.1	13.6	8.1	702	57.3	93	35.0	3.0	0	0	0	0	45.5	19.4	21.0
	H29	6/27	8/12	11/6	1.8	0.4	0.2	105	28.7	13.1	5.6	589	44.5	95	35.8	4.5	0	0	0	0	45.9	18.8	21.8
	H30	6/26	8/2	10/24	1.0	0.0	1.5	94	32.0	14.4	7.6	468	27.2	60	35.5	6.0	0	1	1	1	46.8	18.8	20.4
	R1	6/26	8/11	10/28	3.0	—	—	70	—	12.5	3.3	533	42.0	100	38.4	5.0	0	1	1	1	47.2	18.9	20.8
	R2	6/25	8/15	11/7	2.2	0.0	0.5	78	25.9	12.9	4.6	617	34.3	104	31.5	3.5	0	0	0	0	45.5	19.3	21.4
	R3	6/25	8/9	11/10	1.0	0.0	0.0	90	26.7	14.5	5.7	600	42.1	75	38.9	2.0	1	0	1	0	47.0	18.6	22.0
	平均	6/26	8/9	10/31	1.9	0.1	0.6	86	25.4	13.3	5.8	570	41.4	91	36.3	3.6	0	0	0	0	46.7	18.8	21.3
	タチナガハ	H26	6/25	8/7	10/27	1.8	0.4	0.6	82	25.4	12.6	4.6	504	42.1	39.6	2.0	0	0	0	1	43.3	18.9	23.6
H27		6/25	8/9	10/26	1.6	0.0	1.0	66	22.5	12.6	4.2	454	35.5	39.3	3.0	0	0	0	2	44.7	19.1	22.9	
H28		6/27	8/9	10/27	2.0	0.4	1.0	85	17.3	13.5	8.2	789	61.8	39.1	4.0	0	0	0	1	43.7	20.2	22.1	
H29		6/27	8/13	11/7	1.7	0.2	0.2	81	16.3	13.0	5.6	634	47.1	40.0	4.0	0	0	0	0	44.4	18.2	23.1	
H30		6/26	8/5	11/4	1.3	0.0	1.5	83	28.6	13.7	6.4	632	45.0	36.5	4.5	0	0	1	1	43.6	19.9	22.1	
R1		6/26	8/11	10/29	3.0	—	—	69	—	13.5	4.1	541	41.8	39.5	6.0	0	0	1	1	43.9	19.7	22.2	
R2		6/25	8/15	11/12	1.9	0.0	0.5	86	25.5	13.6	6.5	769	33.1	33.3	4.5	1	0	0	0	42.8	20.3	22.4	
R3		6/25	8/9	11/18	0.8	0.0	1.0	82	20.0	14.9	5.7	893	56.2	44.4	5.0	0	0	0	0	44.8	19.1	23.3	
平均		6/26	8/10	11/4	1.8	0.1	0.8	79	22.2	13.4	5.7	652	45.3	(100)	39.0	4.1	0	0	0	1	43.9	19.4	22.7

注1) 倒伏・蔓化・青立程度

0:無 1:微 2:少 3:中 4:多

2) 障害粒

0:無 1:微 2:少 3:中 4:多 5:甚

3) 品質

1:上の上 2:上の中 3:上の下 4:中の上 5:中の中 6:中の下 7:下

耕種概要

試験年次	施肥量(kg/a)			標播					晩播					備考
				播種期 (月・日)	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	栽植密度 (本/m ²)	播種期 (月・日)	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	栽植密度 (本/m ²)	
	N	P ₂ O	K ₂ O											
H26	0.20	0.60	0.80	5.28	75	20	2	13.3	6.25	75	10	2	26.7	前作:H25年産麦, 土壤型:細粒灰色低地土
H27	0.20	0.60	0.80	5.28	75	20	2	13.3	6.25	75	10	2	26.7	前作:H26年産麦, 土壤型:細粒灰色低地土
H28	0.20	0.60	0.80	5.24	75	20	2	13.3	6.27	75	10	2	26.7	前作:H27年産麦, 土壤型:細粒灰色低地土
H29	0.20	0.60	0.80	5.30	75	20	2	13.3	6.27	75	10	2	26.7	前作:H28年産麦, 土壤型:細粒灰色低地土
H30	0.20	0.60	0.80	5.30	75	20	2	13.3	6.27	75	10	2	26.7	前作:H29年産麦, 土壤型:細粒灰色低地土
R1	0.20	0.60	0.80	5.28	75	20	2	13.3	6.26	75	10	2	26.7	前作:H30年産麦, 土壤型:細粒灰色低地土
R2	0.20	0.60	0.80	6.02	75	20	2	13.3	6.25	75	10	2	26.7	前作:R1年産麦, 土壤型:細粒灰色低地土
R3	0.20	0.60	0.80	5.25	75	20	2	13.3	6.25	75	10	2	26.7	前作:水稻, 土壤型:細粒灰色低地土

(ロ) 現地調査) 成績
 現地調査成績 (平成28~令和3年)

試験地	系統名 品種名	試験 年次	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏 程度 0-4	蔓化 程度 0-4	青立 程度 0-4	茎長 (cm)	最下着 莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	有効 莢数 (個/㎡)	子実重 (kg/a)	子実重 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質		
																		平均(H28~R3)	晩播平均(H30~R3)
大河原	すずみのり	H28	6/8	7/30	10/25	0.8	0.0	0.0	60.8	22.6	14.3	2.4	510	29.2	90	29.5	5.5		
		H29	6/8	7/30	10/17	2.0	0.0	0.0	73.1	17.3	14.0	3.4	499	31.5	83	29.4	7.0		
		H30	6/26	8/7	10/22	1.0	1.0	0.0	52.6	16.0	12.5	4.0	450	27.0	56	34.5	5.0		
		R1	7/3	8/12	10/22	0.0	0.0	1.0	30.4		10.1	5.6	422	22.5	104	30.0	4.0		
		R2	6/22	8/7	10/28	0.0	0.0	0.0	49.1	24.0	12.8	2.3	335	15.2	110	32.2	4.0		
		R3	6/25	8/7	10/29	0.0	0.0	0.5	31.3	10.9	9.6	3.7	436	29.2	97	33.5	2.0		
		平均(H28~R3)	6/20	8/6	10/24	0.6	0.2	0.3	49.5	18.1	12.2	3.6	442	25.8	84	31.5	4.6		
		晩播平均(H30~R3)	6/26	8/9	10/26	0.3	0.3	0.4	40.9	16.9	11.3	3.9	411	23.5	82	32.6	3.8		
		タチナガハ	すずみのり	H28	6/8	7/30	10/25	0.4	0.0	0.0	59.9	20.4	12.7	1.6	495	32.5		33.5	4.5
				H29	6/8	8/2	10/30	1.0	1.0	1.0	70.2	19.7	15.3	3.7	555	38.4		32.9	7.0
H30	6/26			8/7	10/26	3.0	2.0	1.0	49.1	12.1	14.0	4.5	861	48.4		37.1	5.0		
R1	7/3			8/14	10/25	0.0	0.0	1.0	31.3		11.5	2.5	423	21.6		32.0	5.0		
R2	6/22			8/8	11/2	0.0	0.0	0.0	50.9	26.0	14.0	1.6	370	13.8		33.5	3.0		
R3	6/25			8/8	11/2	0.0	0.0	0.5	42.6	16.6	12.0	2.6	434	30.2		35.7	2.0		
平均(H28~R3)	6/20			8/7	10/29	0.7	0.5	0.6	50.6	18.9	13.2	2.8	523	30.8		34.1	4.4		
晩播平均(H30~R3)	6/26			8/10	10/30	0.8	0.5	0.6	43.5	18.2	12.8	2.8	522	28.5		34.6	3.8		
登米	すずみのり			H28	5/31	8/1	10/25	0.0	0.0	0.0	63.9	23.4	14.8	3.9	509	26.4	89	29.9	4.0
				H29	6/5	7/31	10/29	1.5	1.3	1.5	66.0	18.7	13.8	4.4	591	41.8	99	35.3	4.3
		H30	6/7	7/30	10/25	0.0	0.0	0.0	53.5	19.8	13.2	3.5	463	24.1	67	27.9	6.0		
		R1	6/5	8/6	10/28	2.0	1.0	0.0	73.8		17.3	3.5	470	10.4	104	30.5	3.0		
		R2	6/8	8/9	11/6	0.0	0.0	0.0	57.7	22.2	13.1	2.7	431	16.2	79	35.4	3.0		
		R3	6/8	8/2	11/2	0.0	0.0	0.0	75.4	26.5	14.7	3.3	536	16.0	82	39.3	1.0		
		平均	6/6	8/3	10/30	0.6	0.4	0.3	65.1	22.1	14.5	3.5	500	22.5	86	33.1	3.6		
		タチナガハ	すずみのり	H28	5/31	8/4	11/1	0.0	0.0	1.0	48.0	23.3	14.6	3.8	509	29.5		34.3	3.3
				H29	6/5	7/31	10/27	1.5	1.5	1.5	73.8	20.1	14.8	4.3	593	42.1		37.1	3.5
				H30	6/7	7/30	10/25	0.0	0.0	0.5	40.4	13.5	12.9	3.4	658	36.2		28.2	5.5
R1	6/5			8/6	10/31	1.0	1.0	0.0	74.9		16.4	3.3	578	10.0		27.0	4.0		
R2	6/8			8/8	11/6	0.0	0.0	0.0	58.3	20.5	13.6	3.5	675	20.6		39.8	3.0		
R3	6/8			8/2	11/2	0.0	0.0	0.0	71.8	21.3	15.2	4.1	645	19.6		39.9	1.5		
平均	6/6			8/4	10/31	0.4	0.4	0.5	61.2	19.7	14.6	3.7	610	26.3		34.4	3.5		
石巻	すずみのり			H28	6/3	8/3	10/23	1.0	0.0	0.0	62.3	19.8	15.2	3.8	535	34.0	50	30.1	4.0
				H29	6/5	7/30	10/27	2.0	1.0	1.0	72.1	24.6	15.9	4.2	499	29.6	93	29.9	6.0
				H30	6/5	7/27	10/5	1.0	0.0	1.0	64.4	23.4	15.2	3.3	491	25.9	77	29.5	6.0
		R1	6/4	8/5	10/18	1.0	1.0	1.0	51.1		14.8	3.1	485	29.9	94	29.2	5.5		
		R2	6/3	8/2	10/25	0.0	0.0	1.0	52.6	15.4	13.5	3.5	732	41.0	89	28.5	5.0		
		R3	6/2	7/29	10/22	0.0	0.0	1.0	45.3	16.6	12.8	4.1	525	40.3	89	34.6	1.0		
		平均	6/4	8/1	10/20	0.8	0.3	0.8	57.9	20.0	14.6	3.7	544	33.5	75	30.3	4.6		
		タチナガハ	すずみのり	H28	6/3	8/2	10/24	2.0	0.0	0.0	50.1	15.3	15.2	4.8	898	67.8		32.0	4.0
				H29	6/5	8/1	10/28	2.0	1.0	1.0	65.5	19.4	15.0	3.0	506	31.9		32.0	4.0
				H30	6/5	7/28	10/15	1.0	0.0	0.0	48.6	18.9	14.5	3.4	560	33.7		31.8	5.0
R1	6/4			8/5	10/21	2.0	2.0	0.0	55.4		15.7	2.9	480	32.0		35.2	5.1		
R2	6/3			8/4	10/26	0.0	0.0	1.0	60.5	22.6	14.5	3.1	631	45.9		31.7	4.0		
R3	6/2			7/26	10/29	0.0	0.0	1.0	53.9	17.6	13.9	3.5	538	45.5		40.3	1.0		
平均	6/4			8/1	10/24	1.2	0.5	0.5	55.6	18.7	14.8	3.5	602	42.8		33.8	3.9		

注1) 倒伏・蔓化・青立程度

0:無 1:微 2:少 3:中 4:多

2) 障害粒

0:無 1:微 2:少 3:中 4:多 5:甚

3) 品質

1:上の上 2:上の中 3:上の下 4:中の上 5:中の中 6:中の下 7:下

耕種概要

試験場所	地帯区分	試験年次	施肥量(kg/a)			播種様式	播種期 (月.日)	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	栽植密度 (本/m ²)	備考
			N	P ₂ O	K ₂ O							
大河原	南部平坦	H28	0.20	0.80	0.80	標播	6.08	75	20	2	13.3	前作:大豆, 土性:埴壤土
		H29	0.20	0.80	0.80	標播	6.08	75	20	2	13.3	前作:大麦
		H30	0.50	0.20	0.20	晩播	6.26	75	20	2	13.3	前作:大豆
		R1	0.50	0.14	0.14	晩播	7.03	75	20	2	13.3	前作:大豆, 土性:埴壤土
		R2	0.20	0.60	0.80	晩播	6.22	75	20	2	13.3	前作:大豆, 土性:埴壤土
		R3	0.42	0.42	0.40	晩播	6.25	75	20	2	13.3	前作:大豆, 土性:壤土
登米	北部平坦	H28	0.50	0.20	0.22	標播	5.25	75	20	2	13.3	前作:大豆, 土性:埴壤土
		H29	0.50	0.20	0.22	標播	6.05	75	20	2	13.3	前作:大豆
		H30	0.50	0.20	0.22	標播	6.07	75	20	2	13.3	前作:大豆
		R1	0.50	0.20	0.22	標播	6.05	70	20	2	14.3	前作:大豆
		R2	0.12	0.16	0.10	標播	6.08	70	20	2	14.3	前作:水稻, 土性:壤土
		R3	0.12	0.10	0.10	標播	6.08	70	20	2	14.3	前作:水稻, 土性:壤土
石巻	北部平坦	H28	0.45	0.45	0.45	標播	6.03	75	20	2	13.3	前作:水稻, 土性:埴土
		H29	0.36	0.36	0.36	標播	6.05	75	20	2	13.3	前作:大豆
		H30	0.13	0.38	0.50	標播	6.05	75	20	2	13.3	前作:大豆
		R1	0.20	0.60	0.80	標播	6.04	75	20	2	13.3	前作:大豆
		R2	0.22	0.11	0.10	標播	6.03	75	20	2	13.3	前作:大豆, 土性:埴土
		R3	0.12	0.10	0.10	標播	6.02	75	20	2	13.3	前作:大豆, 土性:壤土

加工適性試験成績

(イ) 味噌加工適性試験

表1 味噌加工適性試験 一般試験結果(分析機関:宮城県M工業協同組合, 2016~2020年)

産年	項目	水分 (g%)	総窒素分 (g%)	粗たんぱく質 (g%)	全糖分 (g%)	粗脂肪分 (g%)	灰分 (g%)	pH	吸水率 (%)	発芽率 (%)	水溶性窒素 (g%)	N S I (%)	酸価 (KOHmg)
2016	すずみのり	7.3	6.9	43.1	17.2	20.4	4.8	6.81	220	89	5.9	85.5	0.67
	タチナガハ	7.1	6.2	38.8	18.4	21.9	4.8	6.79	220	97	5.1	82.3	0.69
2017	すずみのり	7.1	7.3	45.6	18.2	18.1	4.6	6.65	219	71	6.2	84.9	0.62
	タチナガハ	7.4	6.6	41.3	19.1	18.6	4.5	6.77	224	69	5.2	78.8	0.74
2018	すずみのり	8.7	6.7	41.9	17.9	19.7	4.8	6.80	218	88	5.5	82.1	0.76
	タチナガハ	7.4	6.8	42.5	17.5	19.5	5.4	6.71	224	90	5.2	76.5	0.66
2019	すずみのり	8.6	6.9	43.1	17.5	20.0	4.7	6.73	222	97	5.8	84.1	0.76
	タチナガハ	8.2	6.7	41.9	17.4	20.5	4.9	6.70	223	95	5.2	77.6	0.76
2020	すずみのり	10.8	6.3	39.4	17.4	20.0	4.8	6.57	216	99	5.3	84.1	0.92
	タチナガハ	9.9	5.9	36.9	18.4	21.1	4.7	6.57	221	99	4.8	81.4	0.91

注1)試験及び分析方法は分析機関の常法に従って実施。

表2 味噌加工適性試験 蒸煮試験結果(分析機関：宮城県M工業協同組合，2016～2020年)

産年	試料名	浸漬重量		蒸煮重量		蒸煮大豆				蒸煮大豆硬度			蒸煮大豆色度			蒸煮大豆所感
		増加比(倍)	増加比(倍)	水分(g%)	平均(g)	最大(g)	最小(g)	変動係数	Y(g)	x	y					
2016	すずみのり	2.28	2.10	56.2	374	420	320	0.090	38.5	0.386	0.368	蒸煮処理大豆は異味異臭なく良好である。甘味は少ないが、組成はなめらかで良い。				
	タチナガハ	2.24	2.10	55.7	449	590	360	0.131	38.6	0.388	0.369	蒸煮処理大豆は異味異臭なく良好であるが、硬度硬めでばらつき多い。組成はなめらかで良い。				
2017	すずみのり	2.30	2.10	55.8	326	370	290	0.076	38.6	0.388	0.375	蒸大豆は異味異臭なく良好である。組成なめらかで、硬度ばらつき少ない。甘味少ない。				
	タチナガハ	2.30	2.15	56.7	346	410	300	0.091	40.1	0.383	0.369	蒸大豆は異味異臭なく香味良好である。組成なめらかで、硬度ばらつき少ない。甘味ある。				
2018	すずみのり	2.25	2.13	56.2	386	440	350	0.070	39.6	0.383	0.366	蒸大豆は異味異臭なく香味良好である。硬度のばらつきなく、組成なめらかで良い。甘み少ない。				
	タチナガハ	2.28	2.10	56.5	409	450	370	0.059	41.1	0.386	0.370	蒸大豆は異味異臭なく香味良好である。硬度のばらつきなく、組成なめらかで良い。甘み少ない。色明るく仕上がる。				
2019	すずみのり	2.18	2.00	54.3	434	470	380	0.062	36.6	0.385	0.369	蒸煮処理大豆は、硬度やや硬いがばらつき少なく、意味異臭なく香味良好である。蒸煮処理大豆の水分54.3%と低めで、蒸煮後重量比2.00倍とあまり増えない。				
	タチナガハ	2.15	2.08	55.1	447	510	350	0.096	35.1	0.389	0.372	蒸煮処理大豆は、硬度やや硬い異味異臭なく香味良好である。				
2020	すずみのり	2.23	2.03	57.2	295	350	250	0.088	40.2	0.382	0.366	蒸煮処理大豆は異味異臭なく香味良好である。組成なめらかで、甘味ある。				
	タチナガハ	2.23	2.08	58.2	332	400	270	0.095	40.6	0.387	0.370	蒸煮処理大豆は異味異臭なく香味良好である。組成なめらかで良い。				

注1)試験及び分析方法は分析機関の常法に従って実施。

(ロ) 豆腐加工適性試験

表3 豆腐加工試験結果(N協会分析センター，2016～2020年)

年産	品種・系統名	豆乳抽出試験					豆腐加工試験		
		たん白質(%)	抽出率(%)	固形分(%)	色調	粘度(mPa・s)	破断強度(g/cm ²)	pH	
2018	すずみのり	5.6	78.2	10.31	83.0	14.3	85	6.3	
	タチナガハ	5.3	78.2	10.24	82.4	12.4	73	6.3	
2019	すずみのり	5.4	76.7	10.15	83.2	13.6	105	6.3	
	タチナガハ	5.1	79.1	9.99	83.9	11.9	93	6.3	
2020	すずみのり	4.9	80.8	9.64	83.3	10.5	69	6.4	
	タチナガハ	4.6	80.0	9.71	83.9	11.9	58	6.3	

注1)試験及び分析方法は分析機関の常法に従って実施。

(ハ) 納豆官能評価試験(T食品、「ミヤギシロメ」との比較、令和3年)

表4 納豆官能評価結果

項目\パネル	1	2	3	4	5	6	Avg
色	0.5	0.0	-1.0	-1.0	-0.5	0.0	-0.3
硬さ	0.0	-1.0	-1.0	1.0	0.0	-0.5	-0.3

パネラー6名で実施。

「すずみのり」は「ミヤギシロメ」に較べ色が若干暗く、硬めの評価。

製造条件では同等の品質評価。

(ニ) 豆腐加工適性試験・官能評価(T食品、「ミヤギシロメ」との比較、令和3年)

表5 試験結果

豆腐②官能評価	色			つや		良⇔悪	有⇔無	有⇔無	無⇔有	無⇔有	無⇔有	硬⇔軟	有⇔無	良⇔悪	ポイント	評価人数
	白	黄	赤	有	無	色調	甘味	こく	渋味	青臭み	不快味	硬さ	ナリ枴	総合		
	40%	60%	0%	60%	20%	0.0	1.0	1.6	0.0	0.4	0.8	-1.0	0.6	0.6	2.50	5人
	「色・つや」：各区分選択者の割合、その他の項目は、+3⇔-3の7段階評価。「硬さ」：点数が高いほど硬い(点数が高い≠よい硬さの豆腐)													豆腐②官能評価	A	

備考
大豆タンパク質含量34.2%とやや高めであり、加水量を増やして、豆乳タンパク質濃度5.0%となるよう豆乳を調製した。
凝固反応性は低いが、ゲル強度は十分出ている。
豆腐は黄みがかかった白色であった。甘味、こくがあり、風味がよく、青臭みなどの不快味も少なかったため、官能評価の結果はAとなった。

評価一覧	豆乳	A
	製品検査	B
官能検査	A	
総合判定	A	A:高適性 B:普通 C:不適

ヌ 特性検定試験成績（各特性検定試験地における成績）

「すずみのり」はダイズモザイクウイルス病原系統A～Eに抵抗性である(表6)。

表6 ダイズモザイクウイルス（SMV）の系統別人工接種に対する反応

(平成26, 28年、東北農業研究センター)

試験年次 (平成)	系統名 または 品種名	A系統			B系統			C系統			D系統			E系統		
		罹病率(%)		判定	罹病率(%)		判定	罹病率(%)		判定	罹病率(%)		判定	罹病率(%)		判定
		モザイク	ネクロシス		モザイク	ネクロシス		モザイク	ネクロシス		モザイク	ネクロシス		モザイク	ネクロシス	
26年	すずみのり	0	0	R	0	0	R	0	0	R	0	0	R	20	0	(R)
	Harosoy	0	0	R	80	0	S	0	0	R	0	0	R	60	0	S
	奥羽3号	0	0	R	0	0	R	100	0	S	100	0	S	40	0	(S)
	十勝長葉	30	0	(R)	80	0	S	100	0	S	100	0	S	50	0	(S)
28年	すずみのり	0	0	R	0	0	R	0	0	R	0	0	R	10	0	R
	すずほまれ	0	0	R	0	0	R	0	0	R	0	0	R	0	0	R
	Harosoy	0	0	R	100	0	S	0	0	R	0	0	R	30	0	(R)
	奥羽3号	0	0	R	0	0	R	100	0	S	100	0	S	100	0	S
	十勝長葉	30	0	(R)	90	0	S	70	0	S	40	0	(S)	30	0	(R)
(参考)	ナカセンナリ			R			R			S			S			S

注1) 調査個体は10個体、判定基準は罹病株率10%以下を抵抗性：R、11～30%以下を抵抗性再検討：(R)、31～50%以下を感受性再検討：(S)、51%以上を感受性：S、とした。

2) 「ナカセンナリ」は過去の育成地での判定結果で、C、D系統はモザイク症状、E系統はネクロシス症状。

「すずみのり」はラッカセイわい化ウイルスに抵抗性で、「すずほまれ」及び「ナカセンナリ」より優れる(表7)。

表7 ラッカセイわい化ウイルス（PSV）の人工接種に対する反応

(平成23, 24年、近畿中国四国農業研究センター)

試験年次	系統名または 品種名	罹病率(%)		判定
		モザイク	ネクロシス	
平成 24年	すずみのり	0	0	抵抗性
	Pekin	0	20	ネクロシス
	アキセンゴク	100	0	感受性
平成 23年	すずほまれ	100	0	感受性
	ナカセンナリ	60	0	感受性

注) 調査個体は10個体、判定基準は罹病株率10%以下を抵抗性、11～50%未満を再検討、51%以上モザイク症状のものを感受性、ただし、低率でネクロシス個体が出現するものをネクロシスとした。

「すずみのり」は茎疫病の幅広いレースに抵抗性である(表8)。

表8 ダイズ茎疫病のレース別人工接種に対する反応

(平成29年、中央農業研究センター北陸拠点)

系統名または品種名	供試レース数	抵抗性を示したレース数	(割合%)
すずみのり	53	48	91
エンレイ	53	0	0
タチナガハ	53	37	70
ギンレイ	53	24	45

注1) 培養個体を胚軸に傷をつけて注入する胚軸接種法による。

注2) 枯死個体や病斑の進展した個体の割合が20%以下の場合を抵抗性とした。

水 稻

報 告 事 項

令和3年度水稻優良品種決定調査成績

令和3年度優良品種決定調査に供した品種(稲)について

供試系統及び品種

種類	早晚性	基本調査			現地調査
		予備調査	本調査	要望品種	
うるち	早生	岩手144号 東北237号 秋田129号 (対)やまのしずく (比)あきたこまち	岩手133号 (3) 東北230号 (3) 奥羽446号 (1)	イ-イ, イ-ホ イ-イ, ハ-イ イ-ロ, イ-ホ	岩手133号 (3) 東北230号 (3) 奥羽446号 (1)
		奥羽IL4号 (対)やまのしずく (比)ちほみのり	(対)やまのしずく (比)あきたこまち		(対)やまのしずく
	中生	岩手146号 福島64号 東北236号 (対)ひとめぼれ (比)まなむすめ	東北233号 (2) 東北234号 (1) 秋田127号 (1) 東北235号 (2)	イ-ロ イ-ロ イ-ロ ハ-ロ	東北233号 (2) 東北234号 (1) 秋田127号 (1) 東北235号 (2)
		奥羽IL2号 (対)ひとめぼれ (比)萌みのり	(対)ひとめぼれ (比)まなむすめ		(対)ひとめぼれ
	晩生	東北238号 東北239号 (対)つや姫 (比)コシヒカリ	山形151号 (1) 越南305号 (1)	イ-ハ イ-ハ	山形151号 (1) 越南305号 (1) (対)つや姫
			東北胚232号 (2) (対)金のいぶき (比)ひとめぼれ	ハ-ホ	東北胚232号 (2) (対)金のいぶき
巨大胚	中生				
	計		10	10	

注1) (対), (比)はそれぞれ対照品種, 比較品種。

注2) 本調査及び現地調査の () 内の数字は供試年数。

※要望品種については, 参考資料P1参照。

※優良品種決定基準については, 参考資料P6参照。

※優良品種決定調査方法については, 参考資料P10~12参照

表1 令和3年度水稻優良品種決定基本調査成績概要(本調査)

系統・品種名	調査年数 本現 調地 査	特性					出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	諸障害					a 当たり					食味官能		玄米		概評 (対照品種との比較)													
		育成地		場内(R2)		倒伏 成熟期 (0-400)						葉いもち 発病 株率 程度		穂いもち 発病 株率 程度		稲こうじ 発病 株率 程度		全重 (kg)	わら重 (kg)	精籾重 (kg)	玄米重 (kg)	屑米重 (kg)	玄米重 対比 (%)	籾わら 比 (%)	千粒重 (g)			外観 品質	整粒 歩合 (%)	白未熟 粒比 (%)	食味官能		玄米 タバタ (乾物%)	有望度	長所	短所			
		耐倒 伏性	耐冷 性	耐病性(いもち) 遺伝子型	薬							穂	収量(%) ※下段 は多肥	品質 (1-9)	発病 株率	発病 程度	発病 株率									発病 程度	発病 株率				発病 程度	1回目					2回目	1回目	2回目
(早生)																																							
岩手133号	3	3	強	強	Pii	強	やや強	94	3.2	(標肥)	7/29	9/3	74.4	18.7	360	0	0	無	13	微	0	無	137	62.3	71.9	57.2	1.2	101	115	23.8	3.2	74.2	4.9	0.1	0.0	6.4	調査終了	・白未熟粒が少なく、外観品質が優る。 ・千粒重が大きい。 ・直播では収量やや優る。	・直播で苗立率やや劣る。
								96	3.3	(多肥)	7/28	9/6	78.3	18.9	423	0	13	少	12	微	3	少	160	74.4	81.1	63.1	2.2	104	109	23.7	4.7	72.7	7.9	-	-	6.6			
東北230号	3	3	中	極強	Pii,k	中強	100	3.3	(標肥)	7/26	9/1	79.0	19.0	384	0	3	微	9	微	3	少	141	65.1	72.4	58.2	0.5	103	111	23.8	3.5	-	-	-0.5	0.0	6.9	調査終了	収量の年次変動大きい。特性把握につき、調査終了。 ・やや低アミロース系統である(12.3%) ・食味は、粘りがあり、「ゆきむすび」とほぼ同等である。 ・千粒重が大きく、多肥区では収量優る。	・出穂期が中生に近い。	
							103	3.2	(多肥)	7/26	9/2	84.9	19.0	500	5	7	少	12	微	0	無	167	77.4	85.4	68.4	1.0	112	110	23.5	4.0	-	-	-	-	7.2				
※やや低アミロース系統 (MxI-1)																																							
奥羽446号	1	1	強	中	Pia2, i?	かなり強	108	4.5	(標肥)	7/29	9/7	70.0	19.4	412	0	0	無	7	微	0	無	142	63.3	74.9	57.9	2.3	102	118	23.7	3.5	75.5	4.2	-0.3	-0.3	6.3	打ち切り	・白未熟粒が少なく、外観品質がやや優る。 ・千粒重が大きく、収量がやや優る。 ・直播では収量優る。	・食味は、粘りが弱く、やや劣る。	
							-	-	(多肥)	7/30	9/13	74.0	19.3	474	2	0	無	12	微	0	無	168	76.8	85.0	64.3	3.7	105	111	23.4	3.5	77.1	5.0	-	-	6.8				
※高温登熟性“カ強” (Apq1), Pi39																																							
(対)やまのしずく	-	-	や強	強	Pii	強強	基準	3.8	(標肥)	7/26	9/3	78.8	18.6	419	0	1	微	5	微	3	少	138	62.6	72.7	56.6	1.9	基準	116	22.1	4.8	66.8	9.6	(基準)	(基準)	6.7				
							基準	3.5	(多肥)	7/27	9/5	85.0	18.6	505	7	1	微	11	微	0	無	159	73.9	80.0	61.0	3.2	基準	108	21.6	5.3	62.7	11.8	-	-	6.9				
(比)あきたこまち	-	-	や弱	中	Pia,i	やや弱	101	3.5	(標肥)	7/28	9/5	81.2	19.0	394	0	4	少	4	微	1	少	137	63.0	71.1	55.4	1.7	98	113	22.4	3.8	74.0	4.6	-0.1	0.1	6.9				
							99	3.5	(多肥)	7/29	9/10	88.5	18.6	459	105	11	少	23	少	3	少	161	76.9	79.4	61.3	2.5	101	103	22.1	4.2	69.7	9.2	-	-	7.3				
(比)ゆきむすび	-	-	中強	Pii	強強	強強	103	3.5	(標肥)	7/25	9/5	80.2	18.7	438	98	0	無	23	少	1	少	140	61.0	74.5	56.6	2.9	100	122	22.2	3.2	-	-	-	-	6.7				
							-	-	(多肥)	7/25	9/8	84.9	19.1	514	145	0	無	20	少	4	少	158	72.0	80.6	59.8	4.1	98	112	21.8	3.5	-	-	-	-	6.7				
(中生)																																							
東北234号	1	1	やや弱	極強以上	Pii	弱中	96	3.8	(標肥)	8/2	9/15	86.1	19.0	406	7	0	無	8	微	0	無	148	71.5	73.6	57.2	2.2	96	103	22.8	4.0	75.6	4.0	-0.4	0.2	6.7	打ち切り	・稈長がやや長く、倒伏程度が上回る。 ・穂数少なく、収量やや劣る。		
							-	-	(多肥)	8/1	9/17	92.0	18.7	467	148	0	無	4	微	3	少	168	85.2	77.1	58.4	3.3	95	90	22.7	4.0	73.7	5.0	-	-	7.0				
※高温登熟性“強”																																							
秋田127号	1	1	やや弱	やや強	Pia,i	やや強	102	4.0	(標肥)	8/1	9/12	77.3	21.2	412	3	0	無	13	微	0	無	150	74.5	72.6	57.3	1.4	96	97	23.6	3.8	80.4	3.2	-0.4	0.1	6.5	打ち切り	・白未熟粒がやや少なく、整粒歩合やや高い。 ・穂数少なく、収量やや劣る。 ・食味は、粘りが劣る。		
							-	-	(多肥)	8/1	9/14	82.0	21.2	458	33	3	微	13	微	0	無	171	85.0	80.4	63.6	1.9	103	95	23.6	4.0	78.4	5.7	-	-	6.7				
※高温登熟性“やや強”																																							
東北233号	2	2	中強	Pii	かなり強	強強	99	3.2	(標肥)	8/1	9/13	82.5	18.8	413	0	0	無	1	微	3	少	151	70.6	77.3	60.2	2.0	101	109	23.4	4.3	79.3	2.9	-0.1	-0.3	6.3	継続	・いもち病に強い。 ・倒伏が少ない ・千粒重が大きい。 ・白未熟粒が少ない。	・外観品質やや劣る。 ・食味は、粘りがやや劣る。	
							106	3.8	(多肥)	8/2	9/16	86.4	18.6	444	2	0	無	1	微	1	少	169	82.6	81.6	62.9	2.7	102	99	23.4	3.8	80.2	3.2	-	-	6.6				
※高温登熟性“強”, Pi39																																							
東北235号	2	2	やや弱	強	Pii	強強	95	4.5	(標肥)	8/2	9/13	81.3	18.8	447	0	0	無	8	微	1	少	143	66.9	72.2	56.5	1.9	95	108	23.4	4.8	73.1	5.4	0.1	-0.3	*	6.7	継続	・Cd低吸収性 ・葉いもちに強い。 ・千粒重が大きい。	・収量がやや劣る。 ・外観品質がやや劣る。
							94	4.3	(多肥)	8/2	9/15	87.4	18.8	472	57	0	無	9	微	0	無	162	79.8	77.6	60.1	2.4	97	97	23.6	4.3	73.5	6.6	-	-	6.9				
※Cd低吸収性ひとめぼれ準同質遺伝子系統, pi21																																							
(対)ひとめぼれ	-	-	や弱	強	Pii	やや弱	基準	4.0	(標肥)	8/2	9/14	82.4	18.5	472	2	11	少	11	微	0	無	154	74.9	75.5	59.5	1.6	基準	101	22.5	3.7	74.0	4.4	(基準)	(基準)	6.5				
							基準	4.3	(多肥)	8/3	9/17	88.6	18.7	504	110	20	少	17	微	0	無	166	81.5	79.7	61.7	2.5	基準	98	22.7	4.2	73.7	5.8	-	-	6.9				
(比)まなむすめ	-	-	やや強	強	Pii	中強	99	3.8	(標肥)	8/1	9/12	76.9	18.4	409	0	3	微	0	無	0	無	144	69.1	72.3	57.4	1.4	96	105	24.2	4.0	80.9	3.9	-	-	6.7				
							109	3.5	(多肥)	8/1	9/14	83.4	18.6	451	23	3	微	3	微	1	少	169	82.7	81.5	64.1	2.1	104	99	24.1	4.2	78.3	7.0	-	-	7.1				
(晩生)																																							
山形151号	1	1	強	強	Pia,i,k	強強	104	4.3	(標肥)	8/3	9/18	76.7	19.4	368	0	3	微	9	微	0	無	154	73.2	77.3	61.1	1.0	118	105	23.6	3.8	78.5	3.1	0.2	0.0	6.2	継続	・千粒重がやや大きく、収量優る。 ・熟期が4~6日早い。 ・白未熟粒がやや多い。		
							-	-	(多肥)	8/3	9/21	81.7	19.0	426	23	1	微	11	微	0	無	180	87.4	87.5	68.9	1.6	117	100	23.8	4.2	76.3	5.0	-	-	6.6				
※Pb1																																							
越南305号	1	1	やや強	やや弱	Pia,i	中弱	113	4.3	(標肥)	8/10	9/29	74.1	17.8	407	0	16	少	28	少	21	多	169	91.1	74.3	59.1	1.3	114	82	25.1	3.8	78.2	2.1	-0.4	0.3	6.0	打ち切り	・千粒重が大きく、収量優る。 ・いもち病に弱い。 ・成熟日数やや長い。		
							-	-	(多肥)	8/10	9/30	78.1	17.7	467	0	27	少	32	少	5	少	194	107.2	83.2	66.1	1.7	112	78	24.9	3.2	74.4	1.8	-	-	6.2				
※高温登熟性“やや強”																																							
(対)つや姫	-	-	や強	弱	Pii,k	強強	基準	3.7	(標肥)	8/8	9/24	76.1	17.1	431	0	0	無	4	微	4	少	154	84.1	65.8	51.6	1.6	基準	78	22.9	3.8	74.7	0.5	(基準)	(基準)	6.6				
							基準	4.2	(多肥)	8/9	9/25	80.8	16.9	488	7	0	無	4	微	9	中	173	93.7	74.7	58.8	1.9	基準	80	22.7	3.7	71.2	0.6	-	-	6.8				
(比)コシヒカリ	-	-	弱	強	+	弱弱	96	4.2	(標肥)	8/10	9/23	95.3	18.5	399	68	12	少	19	少	8	中	159	90.3	65.5	49.2	3.2	95	73	22.5	3.7	76.0	0.5	-0.2	0.1	6.4				
							69	4.5	(多肥)	8/10	9/23	100.7	18.5	459	242	35	少	23	少	9	中	179	102.4	72.5	53.9	4.1	92	71	22.4	3.0	70.1	1.0	-	-	6.5				
(比)げんきまる	-	-	強	やや強	Pib	-	106	3.5	(標肥)	8/4	9/18	80.5	19.1	325	0	4	少	7	微	1	少	154	78.1	72.0	57.1	1.2	111	92	23.8	4.0	77.7	2.1	-0.4	-0.6	**	6.5			
							-	-	(多肥)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
ひとめぼれ基準																																							

注1) 栽培特性は育成地評価。収量、品質は令和2年度における場内試験結果(標肥)。
 注2) 倒伏は倒伏程度(0:無倒伏~4:完全倒伏)別の面積比率により、0~400で示した。発病程度は、発生予察事業の調査実施基準に準じた(ただし、「少」に達しない発病については、「微」とした)。
 注3) 玄米調製は篩目1.8mmで行い、水分は15%で換算した。
 注4) 外観品質は、上上~下下を1.0~9.0で示した。整粒歩合(酒造好適米には心白粒含む)、白未熟粒比(乳白粒比、基部未熟粒比、腹白未熟粒比の合計)はS社製穀粒判別器(RGQI100B)で測定した。
 注5) 食味は、不良~良を-3~+3で評価した結果を対照品種との差で表した。パネラーは古川農業試験場職員。*:危険率5%、**:危険率1%。

表2 令和3年度水稻優良品種決定基本調査成績概要(予備調査)

系統・品種名	期待される特性(育成地評価)						出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	諸障害			a 当たり収量					玄米重 対比 (%)	籾糲比 (%)	千粒重 (g)	外観 品質 (%)	整粒 歩合 (%)	死米 粒比 (%)	白未熟 粒比 (%)	青・その他 未熟粒比 (%)	胴割 粒比 (%)	味度値	玄米 タンパク 質含有率 (DM%)	有望度	概 評 (対照品種との比較)	長所等	短所	
	耐倒 伏性	耐冷 性	耐病性(いもち病)			収量						品質	倒伏	葉いもち		全重 (kg)	わら重 (kg)	精粒重 (kg)	玄米重 (kg)																屑米重 (kg)
			葉	穂	遺伝子型									発病 株率	発病度																				
													成熟期 (0-400)			篩目 1.8mm		篩目 1.8mm																	

表2(予備調査続き)
(晩生)

東北238号	やや強	強	やや強	強	Pik	—	上中	8/11	10/1	78.2	18.5	434	0	0.0	無	174	106.0	60.3	46.9	1.7	90	57	24.6	3.3	82.3	0.0	0.5	10.2	6.6	91.0	6.7	継続	<ul style="list-style-type: none"> 千粒重が重い 整粒歩合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 出穂期は2日、成熟期は6日遅い 収量が劣る
	(耐冷いもち強, 良質良食味)						<p>収量が劣り、成熟期が遅いが千粒重が重く、整粒歩合が高いため継続。 年次変動(熟期・現地適応性)確認のため継続。</p>																											
東北239号	中	かなり強	かなり強	かなり強	Pii	—	上中	8/9	9/25	81.1	18.4	428	0	0.0	無	162	90.2	66.8	52.6	0.8	101	74	25.3	3.5	79.8	0.3	2.6	16.6	0.6	86.9	6.6	継続	<ul style="list-style-type: none"> 出穂期は、成熟期とも同程度 千粒重が重い 	
	(耐冷か強, いもち強, 低アミロース)						<p>千粒重が重く、短所も認められないので継続。 低アミロース系統のため食味、アミロース含量の年次変動等の検討を行う。</p>																											
(対)つや姫	やや強	やや弱	やや強	強	Pii, k	—	上中	8/9	9/25	78.9	17.0	447	0	2.0	微	158	84.8	68.1	52.0	3.0	100	80	22.6	3.5	76.8	0.0	0.3	21.2	1.6	94.1	6.8			
(比)コシヒカリ	やや強	弱	強	弱	+	—	上下	8/10	9/26	97.6	18.7	426	205	4.0	少	162	87.7	69.4	52.7	3.1	101	79	22.4	3.5	76.4	0.0	1.1	21.2	1.1	93.9	6.5			

注1) 期待される特性は育成地のデータで示した。
 注2) 倒伏は、倒伏程度(0:無倒伏~4:完全倒伏)別の面積比率より、0~400で示した。
 注3) いもち病発生程度は発病株率及び発病度の無, 少, 中, 多, 甚で示した。
 注4) 玄米調製は篩目1.8mmで行い、水分は15%で換算した。
 注5) 外観品質は、上上~下下を1.0~9.0で示した。
 注6) うるち米の整粒歩合はS社製穀粒判別器(RGQ110A)、玄米タンパク質含有率はF社製近赤外成分測定装置(Infratec NOVA)、味度値はT社製マテ味度メーター(MA90R2)で測定。

令和4年度優良品種決定調査「予備調査」に供する品種(稲)について

令和4年度の優良品種決定調査「予備調査」に供する水稻品種及び系統は下表のとおりとする。

種類	早晩性	予備調査
うるち	早生	奥羽449号 奥羽450号 (対) やまのしずく (比) あきたこまち
	中生	岩手148号 東北241号 秋田130号 (対) ひとめぼれ (比) まなむすめ
	晩生	東北242号 山形155号 (対) つや姫 (比) コシヒカリ
好酒造米	中生	福島酒67号 (対) 蔵の華
巨大胚	中生	
計		8

注) (対), (比)はそれぞれ対照品種, 比較品種。

大豆

報告事項

令和3年度大豆優良品種決定調査成績

令和3年度優良品種決定調査に供した品種(大豆)について

供試した系統及び品種

区分	早晩性	基本調査 (供試年数)			現地調査
		予備調査	本調査	要望品種	
普通	中生	東北190号	東山239号 (1)	ロ	
		(標) タンレイ			
	中生晩		東山231号(すずみのり) (7) 東北191号 (1)	ハ ハ	東山231号(すずみのり) (6)
		(標) タチナガハ			
(比) ミヤギシロメ					
計		1	3		1

注1) (標) : 標準品種(対照)を示す。

注2) (比) : 比較品種を示す。

※要望品種については、参考資料P4参照。

※優良品種決定基準については、参考資料P6参照。

※優良品種決定調査方法については、参考資料P10~12参照

表1 令和3年度大豆優良品種決定基本調査成績概要(本調査)

系統・品種名	調査年数		栽培特性					開花期 (月日)	成熟期 (月日)	諸障害				主茎長 (cm)	最下 (cm)	主茎 (節/本)	分枝数 (本/株)	有効 莢数 (個/㎡)	子実重 (7.3mm) (kg/a)	同左 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質 (1-7)	障害粒					子実成分				概評(対照品種との比較)					
	本	現	育成地			場内(R2)				倒伏 程度 (0-4)	蔓化 程度 (0-4)	立枯 程度 (0-4)	青立 程度 (0-4)										着莢高 (cm)	節数	莢数	品質	紫斑 (0-5)	褐斑 (0-5)	裂皮 (0-5)	しわ (0-5)	虫害 (0-5)	粗蛋白質 (%)	粗脂肪 (%)	全糖 (%)	有望度	長所	短所
			耐倒伏性	紫斑病	ウイルス(SMV)	立枯	センチュウ																														
(早生)	1	0	-	-	A-D	-	中	119	4.2	(標播)	7/29	11/4	0.6	0.0	0.0	0.0	97	23.4	17.1	9.2	552	42.4	104	38.9	2.3	0	0	1	0	1	45.4	20.1	21.4	◇	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟期が標播で6日, 晩播で5日早い ・収量が優る ・百粒重が重い ・外観品質が優る 		
								93	4.8	(晩播)	8/9	11/3	0.0	0.0	0.0	0.0	87	31.9	12.9	6.0	658	40.3	103	35.3	1.8	0	0	0	0	1	46.2	19.7	21.5				
(対)タンレイ	-	-	極強	やや弱	中	強	弱	100	5.5	(標播)	7/29	11/10	0.9	0.0	0.0	1.0	89	18.2	16.8	8.9	647	40.6	100	36.0	4.3	1	0	2	0	0	45.1	19.3	22.4				
								100	4.8	(晩播)	8/9	11/8	0.8	0.0	0.0	0.0	88	20.0	13.6	4.1	745	39.1	100	32.7	4.5	2	0	0	0	1	46.1	19.0	22.3				
(中生の晩)	7	6	強	やや強	A-E:極強 PSV:強	やや弱	弱	141	3.3	(標播)	7/29	11/19	2.0	0.0	0.0	1.0	97	18.0	17.0	9.7	593	51.7	127	44.9	1.8	1	0	1	0	1	46.5	19.0	22.3	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟期が標播で1日, 晩播で8日早い ・標播で収量が優る ・晩播で外観品質が優る 	<ul style="list-style-type: none"> ・標播で倒伏程度が高い ・晩播で収量が劣る ・晩播で百粒重が軽い 	
								104	3.5	(晩播)	8/9	11/10	1.0	0.0	0.0	0.0	90	26.7	14.5	5.7	600	42.1	75	38.9	2.0	1	0	1	0	1	47.0	18.6	22.0				
東北191号	1	0	-	-	A-D	-	極強	105	5.5	(標播)	7/28	11/17	0.3	0.0	0.5	1.0	83	11.3	15.2	10.4	706	52.8	130	42.2	2.7	1	0	1	0	0	46.3	19.6	21.8	◇	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟期が標播で3日, 晩播で6日早い ・標播で収量が優る ・外観品質が優る 	<ul style="list-style-type: none"> ・標播で最下着莢高が低い ・晩播で収量が劣る ・百粒重が軽い 	
								77	4.5	(晩播)	8/9	11/12	0.8	0.0	0.0	1.0	88	25.3	14.0	4.3	739	51.7	92	40.7	1.3	0	0	1	0	1	45.8	19.8	22.2				
(対)タチナガハ	-	-	強	強	AB:中 PSV:強	中	弱	100	5.1	(標播)	7/30	11/20	0.8	0.0	0.0	1.0	93	23.3	17.0	8.7	502	40.6	100	45.7	1.8	1	0	1	0	1	43.9	19.8	23.2				
								100	4.5	(晩播)	8/9	11/18	0.8	0.0	0.0	1.0	82	20.0	14.9	5.7	893	56.2	100	44.4	5.0	0	0	0	0	2	44.8	19.1	23.3				
(比)ミヤギシロメ	-	-	(弱)	強	中	弱	弱	-	4.0	(標播)	8/3	11/16	2.3	0.0	0.0	1.0	98	27.7	14.8	9.3	481	37.7	93	49.7	2.2	0	0	2	0	1	43.9	19.1	24.0				
								-	3.8	(晩播)	8/17	11/22	1.3	0.0	0.0	1.0	92	19.6	12.4	6.8	669	40.8	73	46.4	5.0	0	1	1	0	2	44.6	18.8	24.1				

表2 令和3年度大豆優良品種決定基本調査成績概要(予備調査)

系統・品種名	調査年数		栽培特性					開花期 (月日)	成熟期 (月日)	諸障害				主茎長 (cm)	最下 (cm)	主茎 (節/本)	分枝数 (本/株)	有効 莢数 (個/㎡)	子実重 (7.3mm) (kg/a)	同左 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質	障害粒					子実成分				概評(対照品種との比較)					
	本	現	育成地			場内(R2)				倒伏 程度 (0-4)	蔓化 程度 (0-4)	立枯 程度 (0-4)	青立 程度 (0-4)										着莢高 (cm)	節数	莢数	品質	紫斑 (0-5)	褐斑 (0-5)	裂皮 (0-5)	しわ (0-5)	虫害 (0-5)	粗蛋白質 (%)	粗脂肪 (%)	全糖 (%)	有望度	長所	短所
			耐倒伏性	紫斑病	ウイルス(SMV)	立枯	センチュウ																														
(中生の早)	-	-	-	-	A-D	-	極強	-	-	(標播)	7/28	10/29	0.0	0.0	0.0	0.0	63	10.5	15.4	12.3	708	55.3	136	40.6	2.3	1	0	2	1	1	43.7	20.6	21.9	◇	<ul style="list-style-type: none"> ・成熟期が標播で12日, 晩播で10日早い ・収量が優る ・倒伏が無い ・百粒重が重い ・外観品質が優る 	収量, 外観品質が優るので継続	
								-	-	(晩播)	8/8	10/29	0.0	0.0	0.0	0.0	56	15.2	12.1	7.7	855	51.0	130	37.4	2.5	1	0	1	1	1	42.7	20.4	22.5				
(対)タンレイ	-	-	極強	やや弱	中	強	弱	100	5.5	(標播)	7/29	11/10	0.9	0.0	0.0	1.0	89	18.2	16.8	8.9	647	40.6	100	36.0	4.3	1	0	2	0	0	45.1	19.3	22.4				
								100	4.8	(晩播)	8/9	11/8	0.8	0.0	0.0	0.0	88	20.0	13.6	4.1	745	39.1	100	32.7	4.5	2	0	0	0	1	46.1	19.0	22.3				

注1) 栽培特性は育成地における評価。収量、品質は令和2年度における場内試験結果。

注2) 諸障害の発生程度は、無:0,少:1,中:2,多:3,甚:4を示す。

注3) 品質は、上の上:1,上の中:2,上の下:3,中の上:4,中の中:5,中の下:6,下:7を示す。

注4) 粗蛋白質含有率は、東北農業研究センターにおける近赤外分光分析法(全粒大豆)による無水分中の含有率。窒素蛋白質換算係数は6.25。

注5) 評価の凡例 ◎:有望 ○:やや有望 ◇:再検討 △:やや劣る ×:劣る

	(標播)	(晩播)	(共通)
耕種概要	播種期: 5月25日 区制: 本調査3区, 予備調査2区 栽植密度: 13.3 本/m ² 畦間: 75cm 株間: 20cm 土改剤: 粒状苦土石灰(5kg/a) 基肥: N:P:K=0.2kg/a:0.6kg/a:0.8kg/a(大豆化成) 除草剤: 5月25日 エコトップP乳剤(播種後) 中耕: 6月22日	播種期: 6月25日 (F3ほ場) 区制: 2区 栽植密度: 26.7 本/m ² 畦間: 75cm 株間: 10cm 土改剤: 粒状苦土石灰(5kg/a) 基肥: N:P:K=0.2kg/a:0.6kg/a:0.8kg/a(大豆化成) 中耕: 7月19日	病害虫防除: 5月18, 21日 7月5日 8月24日 9月1日 クルーサー-MAXX(種子処理) プレバ [®] ソフロア [®] #5 アミスター-20フロア [®] ル プレバ [®] ソフロア [®] #5 プランタム乳剤25 トボンスイカイMC

表3 東山231号優良品種決定調査基本調査成績(平成26～令和3年)

栽培 条件	系統名 品種名	試験 年次	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏 程度 0-4	蔓化 程度 0-4	青立 程度 0-4	茎長 (cm)	最下着 莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	有効 莢数 (個/m ²)	子実重 (kg/a)	子実重 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質	障害粒				粗タンパク 含有率 (%)	粗脂肪 含有率 (%)	全糖 含有率 (%)	有望度 (案)	大河原	登米	石巻
																		紫斑病	褐斑粒	裂皮	しわ							
標播	東山231号	H26	5/28	7/25	10/19	2.2	0.5	0.2	97	26.7	16.9	11.3	631	53.9	102	38.5	2.0	0	0	0	0	45.9	18.8	21.9	◇			
		H27	5/28	7/26	10/24	2.6	0.0	0.1	87	26.2	16.3	9.9	603	43.8	94	39.4	2.0	0	0	0	2	47.1	18.5	22.2	◇			
		H28	5/24	7/26	10/20	2.7	0.0	0.0	91	23.2	16.3	13.4	991	75.8	111	35.1	3.0	0	0	1	1	44.3	20.3	21.0	○	×	×	△
		H29	5/30	7/28	10/28	1.0	0.3	0.2	108	22.9	17.0	10.8	556	42.4	134	39.9	4.8	1	1	0	1	47.0	18.5	21.3	◇	×	△	×
		H30	5/30	7/24	10/18	0.0	0.0	0.7	75	25.2	15.2	7.9	600	38.6	88	33.2	5.3	0	1	1	1	45.6	19.2	20.9	◇	△	×	△
		R1	5/28	8/4	10/21	3.2	—	—	77	—	15.8	7.6	623	47.8	98	34.9	5.0	1	0	1	1	45.3	19.7	21.0	△	△	○	△
		R2	6/2	8/6	11/1	0.8	0.0	0.5	67	17.1	14.0	9.4	808	31.1	141	33.0	3.3	1	0	1	1	42.7	20.7	21.2	○	×	×	×
		R3	5/25	7/29	11/19	2.0	0.0	1.0	97	18.0	17.0	9.7	593	51.7	127	44.9	1.8	1	0	1	0	46.5	19.0	22.3	◎	△	◇	×
		平均	5/29	7/29	10/27	1.8	0.1	0.4	87	22.8	16.1	10.0	676	48.1	109	37.4	3.4	1	0	1	1	45.6	19.3	21.5				
		夕チナガハ	東山231号	H26	5/28	7/25	10/19	1.6	0.3	0.3	93	23.8	17.0	10.8	631	52.7		37.6	3.0	0	0	0	1	42.5	19.5	23.3		
H27	5/28			7/29	10/24	2.3	0.0	0.3	83	24.7	17.2	7.5	597	46.4		40.2	3.0	0	0	0	2	44.1	19.2	23.2				
H28	5/24			7/28	10/22	2.2	0.0	0.5	83	17.5	16.6	11.3	858	68.4		38.5	5.0	0	0	3	1	42.4	20.7	21.4				
H29	5/30			7/28	10/27	1.4	0.0	0.2	103	23.4	16.8	9.1	443	31.7		41.2	4.8	0	1	1	1	43.7	19.3	22.4				
H30	5/30			7/25	10/20	0.5	0.0	0.7	68	19.7	14.8	9.6	757	44.0		31.9	5.3	1	0	1	1	43.5	20.1	21.0				
R1	5/28			8/2	10/23	2.5	—	—	68	—	15.3	7.4	640	48.9		39.8	5.3	1	1	1	1	43.4	20.3	21.6				
R2	5/28			8/5	11/11	1.0	0.0	1.0	73	19.5	14.4	8.9	607	22.1		33.6	5.1	1	0	1	1	41.5	21.6	21.6				
R3	5/25			7/30	11/20	0.8	0.0	1.0	93	23.3	17.0	8.7	502	40.6		45.7	1.8	1	0	1	0	43.9	19.8	23.2				
平均	5/28			7/30	10/29	1.5	0.0	0.6	83	21.7	16.1	9.2	629	44.3	(100)	38.6	4.2	1	0	1	1	43.1	20.1	22.2				
夕チナガハ	東山231号			H26	6/25	8/6	10/26	1.6	0.4	0.6	82	23.1	12.1	4.3	532	47.8	114	37.3	2.0	0	0	0	0	46.3	18.5	21.6		
		H27	6/25	8/8	10/27	2.2	0.0	0.7	78	24.0	13.4	6.9	517	36.1	102	37.8	3.0	0	0	0	1	49.2	17.8	21.7				
		H28	6/27	8/7	10/26	2.5	0.0	0.4	88	17.1	13.6	8.1	702	57.3	93	35.0	3.0	0	0	0	0	45.5	19.4	21.0				
		H29	6/27	8/12	11/6	1.8	0.4	0.2	105	28.7	13.1	5.6	589	44.5	95	35.8	4.5	0	0	0	0	45.9	18.8	21.8				
		H30	6/26	8/2	10/24	1.0	0.0	1.5	94	32.0	14.4	7.6	468	27.2	60	35.5	6.0	0	1	1	1	46.8	18.8	20.4				
		R1	6/26	8/11	10/28	3.0	—	—	70	—	12.5	3.3	533	42.0	100	38.4	5.0	0	1	1	1	47.2	18.9	20.8				
		R2	6/25	8/15	11/7	2.2	0.0	0.5	78	25.9	12.9	4.6	617	34.3	104	31.5	3.5	0	0	0	0	45.5	19.3	21.4				
		R3	6/25	8/9	11/10	1.0	0.0	0.0	90	26.7	14.5	5.7	600	42.1	75	38.9	2.0	1	0	1	0	47.0	18.6	22.0				
		平均	6/26	8/9	10/31	1.9	0.1	0.6	86	25.4	13.3	5.8	570	41.4	91	36.3	3.6	0	0	0	0	46.7	18.8	21.3				
		夕チナガハ	東山231号	H26	6/25	8/7	10/27	1.8	0.4	0.6	82	25.4	12.6	4.6	504	42.1		39.6	2.0	0	0	0	1	43.3	18.9	23.6		
H27	6/25			8/9	10/26	1.6	0.0	1.0	66	22.5	12.6	4.2	454	35.5		39.3	3.0	0	0	0	2	44.7	19.1	22.9				
H28	6/27			8/9	10/27	2.0	0.4	1.0	85	17.3	13.5	8.2	789	61.8		39.1	4.0	0	0	0	1	43.7	20.2	22.1				
H29	6/27			8/13	11/7	1.7	0.2	0.2	81	16.3	13.0	5.6	634	47.1		40.0	4.0	0	0	0	0	44.4	18.2	23.1				
H30	6/26			8/5	11/4	1.3	0.0	1.5	83	28.6	13.7	6.4	632	45.0		36.5	4.5	0	0	1	1	43.6	19.9	22.1				
R1	6/26			8/11	10/29	3.0	—	—	69	—	13.5	4.1	541	41.8		39.5	6.0	0	0	1	1	43.9	19.7	22.2				
R2	6/25			8/15	11/12	1.9	0.0	0.5	86	25.5	13.6	6.5	769	33.1		33.3	4.5	1	0	0	0	42.8	20.3	22.4				
R3	6/25			8/9	11/18	0.8	0.0	1.0	82	20.0	14.9	5.7	893	56.2		44.4	5.0	0	0	0	0	44.8	19.1	23.3				
平均	6/26			8/10	11/4	1.8	0.1	0.8	79	22.2	13.4	5.7	652	45.3	(100)	39.0	4.1	0	0	0	1	43.9	19.4	22.7				

注1) 倒伏・蔓化・青立程度

0:無 1:微 2:少 3:中 4:多

2) 障害粒

0:無 1:微 2:少 3:中 4:多 5:甚

3) 品質

1:上の上 2:上の中 3:上の下 4:中の上 5:中の中 6:中の下 7:下

4) 有望度

◎:有望, ○:やや有望, ◇:再検討, △:やや劣る, ×:劣る

表4 大豆優良品種決定調査成績(現地調査)

大豆優良品種決定現地調査 令和3年度調査成績(大河原農業改良普及センター)

品種統名	栽培様式	栽培密度 株/m ²	出芽良否	開花期 月日	成熟期 月日	蔓化の多少 0-4	倒伏の多少 0-4	青立の多少 0-4	病害虫(0-5)			主茎長 cm	最下着莢高 cm	主茎節数 節/本	分枝数 本/m ²	有効莢数 莢/m ²	a当り収量		子実重比率		百粒重 g	病害虫ならびに その他の被害粒				品質 1-7
									べと病								全重 kg	子実重 kg	タ対 チナガハ %	タ対 ンレイ %		紫斑	褐斑	裂皮	虫害	
東山231号	晩播	6.67	良	8/7	10/29	0	0	0.5 (微)	0			31.3	10.9	9.6	50.0	436	49.9	29.2	96.7		33.5	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0
タチナガハ	晩播	6.67	良	8/8	11/2	0	0	0.5 (微)	0			42.6	16.6	12.0	35.2	434	50.3	30.2			35.7	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0

注1) 出芽の良否
 良: 出芽率80%以上 中: 出芽率50~80% 不良: 50%以下
 2) 蔓化・倒伏・青立、病害虫発生程度
 0: 無 1: 少 2: 中 3: 多 4: 甚
 3) 被害粒発生程度
 0: 無 1: 微 2: 少 3: 中 4: 多 5: 甚
 4) 品質
 1: 上上 2: 上中 3: 上下 4: 中上 5: 中中 6: 中下 7: 下
 5) 有望度
 ◎: 極有望 ○: 有望 ◇: 中もしくは再検討 △: やや劣る ×: 劣る

品種名	有望度	判定理由(できるだけ詳しく)
東山231号	△	本年は外観品質がやや優ったが、その差は小さく「上中」の範囲内。収量性がやや劣り、生育、収量等の特性としては優位性が見られない。参考として過去の優良品種決定現地調査(大河原)の判定結果と主な判定理由を記載する。H28: ×収量、品質劣る。H29: ×収量、品質劣る。H30: ×収量、品質劣る。R1: △収量劣る、優位性なし。R2: ×品質劣る。

大豆優良品種決定現地調査 令和3年度調査成績(登米農業改良普及センター)

品種統名	栽培様式	栽培密度 株/m ²	出芽良否	開花期 月日	成熟期 月日	蔓化の多少 0-4	倒伏の多少 0-4	青立の多少 0-4	病害虫(0-5)			主茎長 cm	最下着莢高 cm	主茎節数 節/本	分枝数 本/m ²	有効莢数 莢/m ²	a当り収量		子実重比率		百粒重 g	病害虫ならびに その他の被害粒				品質 1-7
									べと病								全重 kg	子実重 kg	タ対 チナガハ %	タ対 ンレイ %		紫斑	褐斑	裂皮	虫害	
東山231号	標播	4.2	良	8/2	11/2	0	0	0	0			75.4	26.5	14.7	46.7	536	30.2	32.0	82		39.3			1.3	1.0	
好ガハ	標播	4.2	良	8/2	11/2	0	0	0	0			71.8	21.3	15.2	58.7	645	33.3	39.2			39.9	0.3	0.3	1.7	0.7	1.5

注1) 出芽の良否
 良: 出芽率80%以上 中: 出芽率50~80% 不良: 50%以下
 2) 蔓化・倒伏・青立、病害虫発生程度
 0: 無 1: 少 2: 中 3: 多 4: 甚
 3) 被害粒発生程度
 0: 無 1: 微 2: 少 3: 中 4: 多 5: 甚
 4) 品質
 1: 上上 2: 上中 3: 上下 4: 中上 5: 中中 6: 中下 7: 下
 5) 有望度
 ◎: 極有望 ○: 有望 ◇: 中もしくは再検討 △: やや劣る ×: 劣る

品種名	有望度	判定理由(できるだけ詳しく)
東山231号	◇	収量が約8割と劣るものの、最下着莢高が高く、有効莢数も多く、品質も優るので、施肥等の見直しにより再検討。

大豆優良品種決定現地調査 令和3年度調査成績(石巻農業改良普及センター)

品種統名	栽培様式	栽培密度 株/m ²	出芽良否	開花期 月日	成熟期 月日	蔓化の多少 0-4	倒伏の多少 0-4	青立の多少 0-4	病害虫(0-5)			主茎長 cm	最下着莢高 cm	主茎節数 節/本	分枝数 本/m ²	有効莢数 莢/m ²	a当り収量		子実重比率		百粒重 g	病害虫ならびに その他の被害粒				品質 1-7
									べと病								全重 kg	子実重 kg	タ対 チナガハ %	タ対 ンレイ %		紫斑	褐斑	裂皮	虫害	
東山231号	標播	13.3	良	7/29	10/22	0	0	1	0			45.3	16.6	12.8	54.2	525	76.6	40.3	89		34.6	0	0	0	0	1
タチナガハ	標播	13.3	良	7/26	10/29	0	0	1	0			53.9	17.6	13.9	47.2	538	79.3	45.5			40.3	0	0	0	0	1

注1) 出芽の良否
 良: 出芽率80%以上 中: 出芽率50~80% 不良: 50%以下
 2) 蔓化・倒伏・青立、病害虫発生程度
 0: 無 1: 少 2: 中 3: 多 4: 甚
 3) 被害粒発生程度
 0: 無 1: 微 2: 少 3: 中 4: 多 5: 甚
 4) 品質
 1: 上上 2: 上中 3: 上下 4: 中上 5: 中中 6: 中下 7: 下
 5) 有望度
 ◎: 極有望 ○: 有望 ◇: 中もしくは再検討 △: やや劣る ×: 劣る

品種名	有望度	判定理由(できるだけ詳しく)
東山231号	×	成熟期がタチナガハより早く、子実重、百粒重が劣った。

表5 味噌加工適性試験 一般試験結果(分析機関:宮城県M工業協同組合,各年)

産年	項目	水分 (g%)	総窒素分 (g%)	粗たんぱく質 (g%)	全糖分 (g%)	粗脂肪分 (g%)	灰分 (g%)	pH	吸水率 (%)	発芽率 (%)	水溶性窒素 (g%)	NSI (%)	酸価 (KOHmg)
2016	東山231号	7.3	6.9	43.1	17.2	20.4	4.8	6.81	220	89	5.9	85.5	0.67
	タチナガハ	7.1	6.2	38.8	18.4	21.9	4.8	6.79	220	97	5.1	82.3	0.69
2017	東山231号	7.1	7.3	45.6	18.2	18.1	4.6	6.65	219	71	6.2	84.9	0.62
	タチナガハ	7.4	6.6	41.3	19.1	18.6	4.5	6.77	224	69	5.2	78.8	0.74
2018	東山231号	8.7	6.7	41.9	17.9	19.7	4.8	6.80	218	88	5.5	82.1	0.76
	タチナガハ	7.4	6.8	42.5	17.5	19.5	5.4	6.71	224	90	5.2	76.5	0.66
2019	東山231号	8.6	6.9	43.1	17.5	20.0	4.7	6.73	222	97	5.8	84.1	0.76
	タチナガハ	8.2	6.7	41.9	17.4	20.5	4.9	6.70	223	95	5.2	77.6	0.76
2020	東山231号	108.0	6.3	39.4	17.4	20.0	4.8	6.57	216	99	5.3	84.1	0.92
	タチナガハ	9.9	5.9	36.9	18.4	21.1	4.7	6.57	221	99	4.8	81.4	0.91

注1)試験及び分析方法は分析機関の常法に従って実施。

表6 大豆奨励品種決定調査 味噌加工適性試験 蒸煮試験結果(分析機関:宮城県M工業協同組合,各年)

産年	試料名	浸漬重量 増加比 (倍)	蒸煮重量 増加比 (倍)	蒸煮大豆 水分 (g%)	蒸煮大豆硬度				蒸煮大豆色度			蒸煮大豆所感
					平均 (g)	最大 (g)	最小 (g)	変動係数	Y (%)	x	y	
2016	東山231号	2.28	2.10	56.2	374	420	320	0.090	38.5	0.386	0.368	蒸煮処理大豆は異味異臭なく良好である。甘味は少ないが、組成はなめらかで良い。
	タチナガハ	2.24	2.10	55.7	449	590	360	0.131	38.6	0.388	0.369	蒸煮処理大豆は異味異臭なく良好であるが、硬度硬めでばらつき多い。組成はなめらかで良い。
2017	東山231号	2.30	2.10	55.8	326	370	290	0.076	38.6	0.388	0.375	蒸大豆は異味異臭なく良好である。組成なめらかで、硬度ばらつき少ない。甘味少ない。
	タチナガハ	2.30	2.15	56.7	346	410	300	0.091	40.1	0.383	0.369	蒸大豆は異味異臭なく香味良好である。組成なめらかで、硬度ばらつき少ない。甘味ある。
2018	東山231号	2.25	2.13	56.2	386	440	350	0.070	39.6	0.383	0.366	蒸大豆は異味異臭なく香味良好である。硬度のばらつきなく、組成なめらかで良い。甘み少ない。
	タチナガハ	2.28	2.10	56.5	409	450	370	0.059	41.1	0.386	0.370	蒸大豆は異味異臭なく香味良好である。硬度のばらつきなく、組成なめらかで良い。甘み少ない。色明るく仕上がる。
2019	東山231号	2.18	2.00	54.3	434	470	380	0.062	36.6	0.385	0.369	蒸煮処理大豆は、硬度やや硬いがばらつき少なく、意味異臭なく香味良好である。蒸煮処理大豆の水分54.3%と低めで、蒸煮後重量比2.00倍とあまり増えない。
	タチナガハ	2.15	2.08	55.1	447	510	350	0.096	35.1	0.389	0.372	蒸煮処理大豆は、硬度やや硬い異味異臭なく香味良好である。
2020	東山231号	2.23	2.03	57.2	295	350	250	0.088	40.2	0.382	0.366	蒸煮処理大豆は異味異臭なく香味良好である。組成なめらかで、甘味ある。
	タチナガハ	2.23	2.08	58.2	332	400	270	0.095	40.6	0.387	0.370	蒸煮処理大豆は異味異臭なく香味良好である。組成なめらかで良い。

注1)試験及び分析方法は分析機関の常法に従って実施。

表7 豆腐加工試験結果(N協会分析センター,各年)

年産	品種・系統名	豆乳抽出試験				豆腐加工試験		
		たん白質 (%)	抽出率 (%)	固形分 (%)	色調	粘度 (mPa・s)	破断強度 (g/cm ²)	pH
2018	東山231号	5.6	78.2	10.31	83.0	14.3	85	6.3
	タチナガハ	5.3	78.2	10.24	82.4	12.4	73	6.3
2019	東山231号	5.4	76.7	10.15	83.2	13.6	105	6.3
	タチナガハ	5.1	79.1	9.99	83.9	11.9	93	6.3
2020	東山231号	4.9	80.8	9.64	83.3	10.5	69	6.4
	タチナガハ	4.6	80.0	9.71	83.9	11.9	58	6.3

注1)試験及び分析方法は分析機関の常法に従って実施。

参考資料

目 次

I	要望される品種（稲）	1
II	令和3年度稲優良品種決定調査供試系統（案）の特性概要	2
III	要望される品種（大豆）	4
IV	令和3年度大豆優良品種決定調査供試系統（案）の特性概要	5
V	宮城県優良品種決定基準	6
VI	宮城県主要農作物優良品種区分基準	7
VII	宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について	8
VIII	宮城県主要農作物の基幹品種，特定品種の区分	9
IX	優良品種決定調査の方法 （宮城県主要農作物優良品種決定調査要領（令和2年4月1日施行））	10
X	宮城県優良品種決定調査方法	11
X I	主要農作物種子条例	13
X II	主要農作物品種審査会構成員名簿	15
X III	優良品種特性表（水稻）	16
X IV	優良品種特性表（大豆）	17
X V	優良品種特性表（麦類）	18
X VI	水稻優良品種の年次別作付面積	19
X VII	大豆優良品種の年次別作付面積	20
X VIII	麦類優良品種の年次別作付面積	21

I 要望される品種(稲)

イ うるち種

- (イ)「やまのしずく」よりも極良質・良食味の早生品種。
- (ロ)「ひとめぼれ」よりも高温登熟性に優れ、いもち病に強く、極良質・良食味の中生品種。
- (ハ)「つや姫」程度の熟期で、極良質・良食味の晩生品種。
- (ニ)「ササニシキ」の食味・食感を持ち、より栽培特性の優れた中生品種。
- (ホ)耐倒伏性に優れ、直播適性に優れる早生・中生品種。

ロ もち種

- (イ)「ヒメノモチ」よりも栽培特性に優れ、良質・良食味の糯品種。

ハ その他

- (イ)「ゆきむすび」及び「たきたて」よりもアミロース含有率の変動が少なく、品質が安定している低アミロース品種。
- (ロ)既存の優良品種に、特定の病虫害や環境要因に対する望ましい特性を付与された品種
- (ハ)中食・外食等のニーズに適応する品質・食味を有し、収量性に優れる品種。
- (ニ)輸出を前提とした低コスト栽培及び収量性に極めて優れる品種。
- (ホ)実需者からの要望があり、特定需要が見込まれる品種。

Ⅱ 令和4年度 水稻優良品種決定調査供試系統(案)の特性概要

イ) 本調査

(○:令和3年度調査結果。●:育成地評価)

(イ)うるち種 早生 (対照:やまのしずく)

系統名 (供試年数)	交配組合せ	特性の概要と調査継続理由
東北237号 (1)	東北212号 / ふ系241号	○出穂期は1日遅く, 成熟期は2日早い。 ●耐倒伏性“やや強”。 ●障害型耐冷性“強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は不明であるが, いもち病抵抗性遺伝子 <i>Pi39</i> を保有すると推定される。ほ場抵抗性は葉いもち, 穂いもちともに“かなり強”。 ○収量は優る。
要望品種 イ-(イ)		令和4年度は収量, 品質, 食味の年次変動の確認のため継続検討。

(ロ)うるち種 中生 (対照:ひとめぼれ)

系統名 (供試年数)	交配組合せ	特性の概要と調査継続理由
東北233号 (3)	東1290 / 福島33号	○「ひとめぼれ」より出穂期, 成熟期とも1日早い。 ●高温登熟性“強”。 ●耐倒伏性“中”。 ●障害型耐冷性“強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pii</i> と推定される。いもち病抵抗性遺伝子 <i>Pi39</i> を保有する。ほ場抵抗性は葉いもち“かなり強”, 穂いもち“かなり強”。 ○収量は「ひとめぼれ」並, 外観品質がやや劣る。
要望品種 イ-(ロ)		令和4年度は出穂期, 成熟期の確認及び栽培特性の年次変動, 食味について検討。
山形151号 (2)	北陸255号 / 山形124号	○令和3年度は晩生の「つや姫」対照で調査。 ○「つや姫」より出穂期が5~6日, 成熟期は4~6日早く, 熟期は「ひとめぼれ」に近い。 ●耐倒伏性“強”。 ●障害型耐冷性“強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pia, Pii, Pik</i> と推定される。いもち病抵抗性遺伝子 <i>Pb1</i> を保有する。いもち病ほ場抵抗性は, 葉いもち“強”, 穂いもち“極強”。 ○「つや姫」より収量が優り, 千粒重が重い。
要望品種 イ-(ロ)		令和4年度は中生の「ひとめぼれ」対照で検討を行う。
岩手146号 (1)	東北213号 / 岩手111号	○出穂期は1日, 成熟期は6日遅い。 ●耐倒伏性“やや強”。 ●障害型耐冷性“強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pia, Pii</i> と推定される。いもち病ほ場抵抗性は, 葉いもち“かなり強”, 穂いもち“強”。 ○収量が優り, 千粒重が重い。
要望品種 イ-(ロ)		令和4年度は出穂期, 成熟期の確認及び栽培特性の年次変動, 食味について検討。
福島64号 (1)	越南244号 / 郡系955	○出穂期は1日, 成熟期は3日遅い。 ●耐倒伏性“やや強”。 ●障害型耐冷性“かなり強”。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pia, Pii</i> であるが, いもち病抵抗性遺伝子 <i>Pi39</i> を保有する。いもち病ほ場抵抗性は, 葉いもち“極強”, 穂いもち“中”。 ●高温登熟性“強”。 ○千粒重が重い。
要望品種 イ-(ロ)		令和4年度は出穂期, 成熟期の確認及び栽培特性の年次変動, 食味について検討。

(○:令和3年度調査結果。●:育成地評価)

(ロ) うるち種 中生続き (対照:ひとめぼれ)

系統名 (供試年数)	交配組合せ	特性の概要と調査継続理由
東北235号 (3)	東北209号 / 東1667	○出穂期は1日早い~同程度, 成熟期は1日~2日早い。 ●Cd低吸収性を持つ。 ●耐倒伏性"やや弱"。 ●障害型耐冷性"強"。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pii</i> , いもち病抵抗性遺伝子 <i>Pi21</i> を保有する。ほ場抵抗性は葉いもち"強", 穂いもち"強"。 ○千粒重は重く, 外観品質がやや劣る。
要望品種 ハ-(ロ)		令和4年度は対照品種との同一性(生育ステージ・食味・現地適応性等)について検討。
東北236号 (1)	東1667 // 東1585 / 東1594	○「ひとめぼれ」より出穂期は2日遅く, 成熟期は4日遅い。 ●Cd低吸収性を持つ。 ●耐倒伏性"やや弱"。 ●障害型耐冷性"かなり強"。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pii</i> と推定され, いもち病抵抗性遺伝子 <i>Pb1</i> を保有する。ほ場抵抗性は葉いもち"やや弱", 穂いもち"強"。 ○収量は「ひとめぼれ」と同程度, 外観品質がやや劣る。
要望品種 ハ-(ロ)		令和4年度は出穂期, 成熟期の確認及び栽培特性の年次変動, 食味について検討。

(ハ) うるち種 晩生 (対照:つや姫)

系統名 (供試年数)	交配組合せ	特性の概要と調査継続理由
東北238号 (1)	東1542 / 古川耐冷中母111	○出穂期は2日, 成熟期は6日遅い。 ●耐倒伏性"やや強"。 ●障害型耐冷性"強"。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pik</i> と推定される。ほ場抵抗性は葉いもち"やや強", 穂いもち"強"。 ○収量は劣るが千粒重が重い。
要望品種 イ-(ハ)		令和4年度は出穂期, 成熟期の確認及び栽培特性の年次変動, 食味について検討。
東北239号 (1)	東北225号 / 東北222号	○出穂期, 成熟期とも「つや姫」と同程度。 ●やや低アミロース。 ●耐倒伏性"中"。 ●障害型耐冷性"かなり強"。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pii</i> と推定される。ほ場抵抗性は葉いもち"かなり強", 穂いもち"かなり強"。 ○収量は「つや姫」並だが千粒重が重い。
要望品種 イ-(ハ), ハ-(イ)		令和4年度は晩生の低アミロース系統として出穂期, 成熟期の確認及び食味について検討。

(三) 巨大胚種 中生 (対照:金のいぶき)

系統名 (供試年数)	交配組合せ	特性の概要と調査継続理由
東北胚232号 (3)	東北胚202号 (金のいぶき) / 東1342	○「金のいぶき」より出穂期が2~3日早く, 成熟期は6~8日早い。 ●耐倒伏性"弱"。 ●障害型耐冷性"やや強"。 ●いもち病真性抵抗性遺伝子型は <i>Pii</i> 。いもち病抵抗性遺伝子 <i>Pi35, Pi39</i> を保有する。ほ場抵抗性は, 葉いもち"極強", 穂いもち"極強"。 ○収量が優り, 千粒重がやや重い。外観品質やや劣る。
要望品種 ハ-(ホ)		令和4年度は出穂期, 成熟期の確認及び栽培特性の年次変動, 食味について検討。

ロ) 予備調査

※供試系統は育成地からの配布系統通知により, 後日確定する。

Ⅲ 要望される品種（大豆）

- イ) 晩播栽培に適する早生良質多収品種。
- ロ) タンレイより病害抵抗性が強い良質多収品種。
- ハ) タチナガハ並に最下着莢高が高く，加工適性が優れる良質多収品種。

IV 令和4年度 大豆優良品種決定調査供試系統(案)の特性概要

- 熟期, 収量, 品質は令和3年度調査結果
 ● その他の項目: 育成地の評価

系統名	(供試年数)	要望品種	交配組合せ	特性の概要
東山239号	(2)	ロ	東山213号 (シュウレイ) / 東山212号	<ul style="list-style-type: none"> ○ タンレイと比較して, 成熟期が5~6日早い。 ○ 収量, 外観品質が優る。 ○ 百粒重が重い。 ● SMV抵抗性強(A-D), SCN抵抗性中。 4年度は栽培特性の年次変動, 加工適性について検討。
東北191号	(2)	ハ	里のほほえみ / ふくいぶき	<ul style="list-style-type: none"> ○ タチナガハと比較して, 成熟期が3~6日早い。 ○ 標播で収量が優る。 ○ 晩播では外観品質が優る。 ● SMV抵抗性強(A-D), SCN抵抗性極強。 ● 難裂莢性を有する。 4年度は収量性, 加工適性および現地でのSCN抵抗性について検討。
東北190号	(1)	ロ	おおすず / 刈交1908F ₁	<ul style="list-style-type: none"> ○ タンレイと比較して, 成熟期が10~12日早い。 ○ 収量, 外観品質が優る。 ○ 百粒重が重い。 ● SMV抵抗性“強”(A-D)。 ● SCN抵抗性“極強”。 ● PSV抵抗性を保有する。 4年度は栽培特性の年次変動と加工適性について検討。

注) SMV:ダイズモザイクウイルス 大豆に感染するウイルス病の一種。A~Eの5つの系統がある。

SCN:ダイズシストセンチュウ 大豆を加害するセンチュウの一種。

PSV:ラッカセイわい化ウイルス

V 宮城県優良品種決定基準

(令和2年9月18日決定)

1 優良品種の採用基準

知事は、優良品種に採用する場合には、おおむね次の基準のいずれかを満たしている品種のうち、普及上特に支障となる欠点のないものの中から選択するものとする。

(1) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し，既存の優良品種（以下「対照品種」という。）と比較して明らかに優れていると認められること。ただし，優良品種に採用しようとする品種が，普及対象地域の範囲又は生産物の用途について制限のある場合を妨げない。

(2) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて，対照品種と比較して明らかに優れていると認められること。

2 優良品種の廃止基準

知事は，優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは，当該優良品種を廃止することができる。

(1) 優良品種の特性が変化し，1の基準を満たさなくなった場合

(2) 普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要とされる特性に関し，重大な欠点が多くなった場合

(3) 当該品種に係る作付面積が著しく減少し，今後とも増加の見通しが無い場合

(4) 新たな優良品種によって代替が可能である場合

(5) 当該品種の種子の供給が困難となった場合

Ⅵ 宮城県主要農作物優良品種区分基準

(令和2年9月18日決定)

(目的)

- 1 本県が推奨する主要農作物品種(水稲・麦類・大豆)を基幹品種及び特定品種の2区分とし、適地適品種の作付を推進する。

(名称区分)

- 2 優良品種は次の名称に区分する。
 - (1) 基幹品種
生産・流通対策上、基幹となる品種
 - (2) 特定品種
基幹品種を補完する品種

(区分基準)

- 3 品種の構成は、基幹品種を熟期別に設定し、さらに、これを補完する特定品種を配することとする。

採用については、「宮城県優良品種決定基準」(令和2年9月18日決定)「優良品種の採用基準」1に定めるもののほか、下記の項目に照らし総合的に勘案して決定する。

- (1) 基幹品種
生産、流通対策上、基幹となる品種として生産振興を図る必要のある品種
- (2) 特定品種
 - ア 特定の気象・土壌条件に栽培が適している品種
 - イ 特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種
 - ウ 作業体系及び各種危険分散の要求を満たす品種
 - エ 生産者並びに消費者ニーズ等が特に強い品種
 - オ 暫定的に普及が望まれる品種

Ⅶ 宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)

(令和2年9月18日決定)

主要農作物(水稲・麦類・大豆)基幹・特定品種の採用・廃止については「宮城県優良品種決定基準」及び「宮城県主要農作物優良品種区分基準」に定めるもののほか、以下により行うものとする。

1 すでに普及している品種(県優良品種以外のもの)の取り扱いについて

過去3ヶ年、概ね下記面積を超えて安定的に栽培されている品種については、優良品種決定調査に供試することを検討する。

なお、これまで優良品種決定調査に参考品種等として供試し、特性が明らかになっている品種については、既存データを活用し、検討することができるものとする。

水 稲	麦 類	大 豆
2 0 0 ha	1 0 0 ha	1 0 0 ha

2 基幹・特定品種の移行について

(1) 特定品種から基幹品種への移行について

特定品種のうち、下記面積を上回り、生産・流通対策上、特に必要とされるものについては、基幹品種への移行を検討する。

(2) 基幹品種から特定品種への移行について

基幹品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、特定品種への移行を検討する。

作物名	面 積	備 考
水 稲	2 0 0 ha	類別区分の指定基準数量1,000tによる
麦 類	2 0 0 ha	銘柄区分Ⅱの基準数量500t以上による
大 豆	3 0 0 ha	1銘柄販売ロット500t以上

3 基幹・特定品種の廃止について

基幹・特定品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稲	麦 類	大 豆
1 0 0 ha	5 0 ha	5 0 ha

4 その他

上記以外に必要な事項については、主要農作物品種審査会において検討を行うものとする。

Ⅷ 宮城県主要農作物の基幹品種，特定品種の区分

1 水稻

	基幹品種	特定品種
早 生	やまのしずく	ゆきむすび(低アミロース米)
中 生	ひとめぼれ，ササニシキ， まなむすめ，だて正夢	トヨニシキ，げんきまる， 東北194号，金のいぶき
晩 生	—	コシヒカリ，つや姫
も ち	みやこがねもち	ヒメノモチ，こもちまる
特 殊 用途米	蔵の華（酒造好適米）	たきたて(低アミロース米)

2 麦類

(1) 小 麦

	基幹品種	特定品種
中 生	シラネコムギ，夏黄金	あおばの恋

(2) 大 麦

	基幹品種	特定品種
早 生	シュンライ	ホワイトファイバー
中 生	ミノリムギ	—

3 大豆

	基幹品種	特定品種
中 生	タンレイ，あやこがね	すずほのか，タチナガハ， きぬさやか
晩 生	ミヤギシロメ	—

IX 優良品種決定調査の方法

(宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))

1 調査対象品種

(1) 優良品種決定調査(以下「調査」という。)の対象となる品種は、次のすべての要件を満たすものの中から主要農作物品種審査会の調査審議を経て決定するものとする。

ア 調査に支障のない程度に品種の固定が進んでいること。

イ 調査に必要な種子が十分に供給されること。

ウ 県が定めた病虫害抵抗性その他の主要な特性について、検定により明らかにされていること。

エ 県の既存の優良品種との比較栽培試験等により、改善された点が認められること。

(2) (1)の品種の育成者は、調査を受けようとする品種について、(1)のアからエまでの事項に関する資料を添えて県に次に掲げる期日までに申請を行うものとする。ただし、あらかじめ県と協議して別の期日を設けた場合には、この限りではない。

稲及び大豆	12月末日
麦類	7月末日

2 調査の期間

(1) 調査の期間は、原則として3年とする。ただし、3年未満の調査であっても他の都道府県その他の機関の調査結果から調査対象品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、この期間を短縮することができる。

(2) 基本調査は、調査対象品種の特性を明らかにするため、第1年目に予備調査、第2年目以降に本調査を行う。ただし、当該品種の特性が明らかかな場合又は県が必要と認める場合には、予備調査を省略することができる。

(3) 現地調査は、基本調査の予備調査が終了してから行う。

3 調査に用いる品種

調査には、次の品種を含めなければならない。

(1) 標準品種

原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象の基準となる品種

(2) 比較品種

特定の形質を比較するための品種

X 宮城県優良品種決定調査方法

(令和2年9月18日決定)

- 1 品種の育成者が優良品種決定調査を受けようとする品種について、検定により明らかにしておくべき特性

農作物 の種類	特性の項目
稲	出穂期, 成熟期, 稈長, 穂長, 精玄米重, 玄米千粒重, 品質, 食味, 病虫害抵抗性(葉いもち, 穂いもち, 紋枯病等), 障害抵抗性(耐冷性, 高温登熟 耐性, 耐倒伏性, 穂発芽性等), 実需者の評価
麦 類	出穂期, 成熟期, 播性程度, 稈長, 穂長, 子実重, 容積重, 千粒重, 品質, 穂発芽性, 加工適正(製粉性, 粉色, 精麦白度等), 病虫害抵抗性(赤さび病, うどんこ病, 赤かび病), 障害抵抗性(耐倒伏性, 耐寒雪性), 実需者の評価
大 豆	開花期, 成熟期, 主茎長, 分枝数, 子実重, 有粒重, 種皮色, 光沢, 品質, 病虫害抵抗性(ウイルス病, 立枯性病害, 紫斑病, センチュウ), 障害抵抗性耐倒伏性, 裂皮の難易), 実需者の評価

2 優良品種決定調査の耕種概要の基準

調査の種類	農作物 の種類	区 制		耕種法の種類	
		1区面積	区 数		
基 本 調 査	予 備 調 査	稲 麦 類 大 豆	6 m ² 以上 10m ² 以上 12m ² 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等につ いて, 本県に最も普及している耕種様式 により調査を行う。
	本 調 査	稲 麦 類 大 豆	6 m ² 以上 10m ² 以上 12m ² 以上	3区 以上	
現 地 調 査	稲 麦 類 大 豆	20m ² 以上	2区 以上	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等につ いて, 優良品種適応地域ごとに最も普及 している耕種様式により調査を行う。	

3 優良品種決定調査の調査項目の基準

調査の種類		調査の項目
基本調査	予備調査	<p>1 稲 播種期, 移植期(直播の場合は入水期), 出穂期, 成熟期, 発芽の良否(直播又は陸稲の場合に限る。), 稈長, 穂長, 穂数, 全重, 玄米収量, 標準品種と玄米収量の比較比率, 玄米千粒重, 玄米品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>2 麦類 播種期, 出穂期, 成熟期, 発芽の良否, 稈長, 穂長, 穂数, 子実収量, 千粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p> <p>3 大豆 播種期, 開花期, 成熟期, 発芽の良否, 茎長, 分枝数, 子実収量, 百粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病虫害, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質</p>
	本調査	<p>1 稲 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 心白又は腹白の多少, 搗精歩合及び食味</p> <p>2 麦類 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 容積重及び子実加工品の品質</p> <p>3 大豆 予備調査の項目に同じ。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 子実加工品の品質</p>
現地調査		<p>1 稲 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>2 麦類 基本調査の予備調査の項目に同じ。</p> <p>3 大豆 基本調査の予備調査の項目から, 分枝数を除いたもの。</p>

X I 主要農作物種子条例

[令和元年宮城県条例第59号]

第三章 主要農作物品種審査会

(設置)

第十八条 知事の諮問に応じ、優良品種に関する重要事項を調査審議するため、主要農作物品種審査会（以下「審査会」という。）を置く。

(所掌事務)

第十九条 審査会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- 一 優良品種の決定基準に関する事項
- 二 優良品種決定調査に供される品種に関する事項（当該品種に係る優良品種決定調査の継続及び中止に関することを含む。）
- 三 優良品種決定調査の方法に関する事項
- 四 優良品種の決定及び廃止に関する事項
- 五 その他優良品種に関し必要な事項

(組織等)

第二十条 審査会は、委員十人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が任命する。

- 一 学識経験を有する者
- 二 関係団体の役員又は職員
- 三 関係行政機関の職員
- 四 県の職員

3 前項第一号に掲げる者のうちから任命される委員の任期は、二年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第二十一条 審査会に、会長一人及び副会長二人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐するとともに、会長があらかじめ定めた順序により、会

長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第二十二條 審査会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審査会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審査会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事)

第二十三條 審査会に、幹事を置き、県の職員のうちから、知事がこれを任命する。

2 幹事は、審査会の所掌事務について、委員を補佐する。

(会長への委任)

第二十四條 この章に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、会長が審査会に諮って定める。

X II 主要農作物品種審査会構成員名簿

(令和3年7月)

役 職 名	氏 名	所 属 及 び 職 名
会長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科作物学研究室 教授
副会長	阿部 茂	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事
委員	高澤 まき子	仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科 教授
〃	中村 聡	宮城大学食産業学群 教授
〃	鈴木 康則	宮城県農業会議 副会長
〃	加藤 房子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事
〃	大崎 早苗	宮城県農業士会 副会長
〃	宮崎 理子	東北農政局生産部生産振興課 課長補佐
〃	金須 豊洋	宮城県農政部 副部長（技術担当）
幹 事	齋藤 康彦	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
〃	八巻 智	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
〃	北奥 真一	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
〃	佐々木 都彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部長

ⅩⅢ 優良品種特性表(水稻) (H29~R3)

種類	早晩性	品種名	来歴 (育成場所, 育成年次)	区分	採用年次	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	草型	穂発芽性	落粒性					収量(kg/10a)		粒形(mm)					食味	品質	特性概要	栽培適地						
													抵抗性	葉いもち	穂いもち	白葉枯	耐冷性	耐倒伏性	精粒重	玄米重	玄米千粒重(g)	長さ	幅	厚さ					芒の多少	芒の長さ	心白の多少	腹白の多少		
うるち	早生	ゆきむすび	東北157号(はたじるし)×東810 (宮城県古川農試, 平19)	特定	平19	7/28	9/10	76.7	17.2	488	偏穂重	やや難	難	Pii	強	強	やや弱	強	中	728	577	22.5	5.2	2.8	2.0	少	短	白	—	少	上の中	上の中	早生の低アミロース米で極良食味。耐冷性は強、耐病性は強、耐倒伏性は中。	西部丘陵地帯の標高の高い地域、三陸沿岸地帯の冷涼な地域、山間高冷地帯
		やまのしずく	中部94号(峰ひびき)×こころまち (宮城県古川農試, 平19)	基幹	平19	7/29	9/9	77.0	17.7	463	偏穂重	やや難	難	Pii	強	強	やや弱	強	やや強	713	569	21.7	5.1	2.9	2.0	少	短	白	稀	極少	上の中	上の下	良品質、良食味。耐冷性は強。いもち病に強い。	西部丘陵地帯、三陸沿岸地帯、及び山間高冷地帯
	中生	ササニシキ	奥羽224号(ハツニシキ)×ササシグレ (宮城古川農試, 昭38)	基幹	昭38	8/2	9/18	82.0	17.3	539	穂数	やや易	難	Pia	やや弱	弱	やや弱	弱	弱	817	621	21.1	5.0	2.8	2.0	稀少	短	白	稀	やや少	上の中	上の中	良食味。稈はやや弱く、耐倒伏性は弱。耐冷性は弱で、いもち病に弱い。	平地地帯
		トヨニシキ	東北78号(ササニシキ)×奥羽239号 (東北農試, 昭44)	特定	昭49	8/3	9/18	82.9	18.3	478	中間	やや易	難	Pia	やや強	やや強	やや弱	弱	やや強	764	593	21.2	5.0	2.8	2.0	少	短	白	稀	極少	上の中	上の中	強稈。良品質。いもち病に強い。	平地地帯
		東北194号	ササニシキ×ひとめぼれ (宮城古川農試, 平成23)	特定	平25	8/3	9/16	79.6	17.6	550	穂数	難	難	+	やや弱	弱	やや弱	強	やや弱	775	598	21.2	5.1	2.8	2.0	少	短	白	稀	極少	上の下	上の下	ササニシキの食味を継承し、耐冷性は強、穂発芽性は難。いもち病抵抗性は葉いもちはやや弱、穂いもちはやや弱。	北部・南部平坦地、仙台湾沿岸、西部丘陵地
		ひとめぼれ	コシヒカリ×初星 (宮城古川農試, 平3)	基幹	平3	8/3	9/15	80.5	17.8	517	偏穂重	難	難	Pii	やや弱	中	やや弱	強	やや弱	738	582	21.8	5.1	2.8	2.0	やや少	短	白	稀	極少	上の中	上の中	良品質、極良食味。耐冷性は強。粒数やや少なく、葉いもちにやや弱い。	平地地帯
		まなむすめ	トヨニシキ×東北143号(ひとめぼれ) (宮城古川農試, 平9)	基幹	平9	8/2	9/14	77.2	18.0	445	中間	難	難	Pii	中	強	やや弱	強	やや強	735	587	23.7	5.2	2.9	2.0	やや少	短	白	稀	極少	上の中	上の中	耐冷性はやや強～強。強稈で耐倒伏性はやや強。極良食味。いもち病に強い。	平地地帯及び西部丘陵地帯、三陸沿岸地帯の標高の低い地域
		たきたて	奥羽343号×東北153号 (宮城古川農試, 平13)	特定	平13	8/5	9/19	84.8	17.8	484	偏穂重	中	難	Pii	やや強	やや強	やや弱	強	やや強	761	608	22.2	5.0	2.8	2.0	少	短	白	—	極少	上の中	上の中	低アミロース米で極良食味。耐冷性はやや強、耐病性、耐倒伏性はやや強。	山間高冷地を除く県下一円
	だて正夢	東北189号(げんきまる)×東1126 (宮城古川農試, 平28年)	基幹	平28	8/5	9/20	83.8	18.6	402	中間	やや難	難	Pib	不明	不明	弱	強	やや強	715	560	20.2	5.1	2.6	2.0	中	やや短	白	稀	極少	上の中	上の中	低アミロース米。白米アミロース含有率が「ひとめぼれ」と「たきたて」の間で、良食味。耐倒伏性はやや強、耐冷性は強。千粒重は20g程度で軽い。	山間高冷地を除く県下一円	
	やや晩生	げんきまる	北陸188号×東北152号(まなむすめ) (宮城古川農試, 平21)	特定	平22	8/6	9/22	80.6	18.9	380	中間	難	難	Pib	不明	不明	やや弱	強	やや強	755	610	23.5	5.2	2.9	2.0	やや少	短	白	稀	極少	上の中	上の中	地力が高いほ場では多収が期待できる。強稈で耐倒伏性は強。いもち病抵抗性は不明。	山間高冷地を除く県下一円(地力が高いほ場)
金のいぶき		たきたて×北陸167号(めばえもち) (宮城古川農試, 平28年)	特定	平28	8/7	9/26	79.2	18.9	490	偏穂重	中	難	Pii	中	やや弱	強	やや弱	中	636	488	21.6	5.2	2.9	2.0	少	短	白	—	少	上の中	上の中	低アミロース巨大胚品種。玄米での食味が優れ、GABAやビタミンE含有量が多い。耐冷性は強。いもち病抵抗性は葉いもちは中、穂いもちはやや弱。	山間高冷地を除く県下一円	
晩生	コシヒカリ	農林22号×農林1号 (福井農試, 昭31)	特定	平13	8/14	9/30	95.1	18.2	452	中間	難	難	+	弱	弱	中	強	弱	725	550	21.8	5.0	2.9	1.9	稀	短	白	稀	極少	上の中	上の中	良品質、良食味。耐冷性は強で、耐病性、耐倒伏性は弱。	南部平坦地帯	
	つや姫	山形70号×東北164号 (山形農研センター, 平21)	特定	平21	8/12	9/30	78.9	16.8	463	中間	中	難	Pi Pi	強	不明	やや強	中	やや強	735	571	21.6	5.1	2.9	1.9	稀	極短	白	稀	極少	上の中	上の中	良品質、良食味。短稈で耐倒伏性はやや強。耐冷性は中。穂いもちほ場抵抗性は不明。	南部平坦地帯を中心とした平地地帯、仙台湾沿岸地帯	
もち	早生	ヒメモチ	大系227×こがねもち (東北農試, 昭47)	特定	昭53	7/29	9/8	81.9	18.7	415	偏穂重	易	難	Pik	強	強	弱	やや弱	769	548	22.3	5.1	2.9	2.0	稀	極短	白	—	—	上の中	上の中	良品質。餅の食味良好。いもち病に強い。耐倒伏性はやや弱、耐冷性はやや弱。	山間高冷地帯、西部丘陵地帯	
		みやこがねもち (こがねもち)	信濃3号×農林17号 (新潟農試中条試験地, 昭33)	基幹	昭33	8/8	9/23	90.6	16.6	402	偏穂重	易	難	Pia	弱	弱	弱	やや弱	弱	758	588	21.6	4.9	2.9	2.0	稀	中	褐	—	—	上の中	上の中	餅の食味良好。いもち病に弱く、耐冷性はやや弱、耐倒伏性は弱。	山間高冷地を除く県下一円
	こもちまる	もちむすめ×東北糯161号 (宮城古川農試, 平24)	特定	平25	8/9	9/25	82.6	16.6	361	偏穂重	中	難	+	かなり強	かなり強	やや弱	強	やや強	711	545	22.1	5.2	2.9	2.0	やや少	やや短	褐	—	—	上の中	上の中	餅の食味良好。耐倒伏性はやや強、耐冷性は強。いもち病抵抗性はかなり強。穂発芽性は中。	北部・南部平坦、西部丘陵、仙台湾沿岸、三陸沿岸地帯	
酒米	中生	蔵の華	東北140号×(山田錦×東北140号)F ₁ (宮城古川農試, 平9)	基幹	平9	8/2	9/13	73.7	16.7	689	穂数	やや難	難	+	中	強	やや強	強	やや弱	758	614	24.1	5.3	2.9	2.0	中	短	白	少	少	上の中	上の中	酒造好適米。穂数が多く多収。短稈。耐倒伏性はやや弱、耐冷性は強。	平地地帯、西部丘陵地帯の標高の低い地域

注1) 調査ほ: 水稻優良品種決定調査ほ(古川農業試験場, 大崎市) 施肥要素: 基肥5kg/10a, 減収分裂期追肥1kg/10a
 注2) 調査年次: 平成29~令和3年。
 注3) 本表の特性の分類は、平成27年1月に示された新たな審査基準(稲種)によるもの。
 注4) 収量および千粒重は、篩目1.8mmで調整し、水分15%換算とした。

XIV 優良品種特性表(大豆)

(H29~R3)

種	早晩	品 種 名	来 歴 (育成場所, 育成年次)	採 用 年 次	奨 励 品 種 区 分	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	* 生 態 型	主 茎 長 (cm)	分 枝 数 (本)	主 茎 節 数 (節)	* 葉 形	* 伸 育 形 状	* 毛 茸 の 有 無 及 び 色	* 花 莢 色	* 熟 莢 色	* 裂 莢 性	子 実							病害抵抗性			密 植 適 応 性	晩 播 適 応 性	特 性 概 要	栽 培 適 地		
																		百 粒 重 (g)	* 形 状	* 種 皮 色	* 臍 色	10a 当 たり 収 量 (kg)	粗 た ん ぱ く 質 (%)	粗 脂 肪 (%)	全 糖 (%)	* 外 観 品 質	* ウ イ ル ス 病 害					* 立 枯 病 害	* 紫 斑 病 害
大豆	早 生	すずほのか ^{注2}	刈交778F5×コスズ (東北農研, 平19)	平 20	特 定	8. 08	10. 12	中 間 型	60	4. 2	15. 2	三 角 形	有 限	白	紫	淡	中	9. 2	球	黄 白	黄	307	45. 1	17. 6	22. 3	中 の 上	強	や や 強	強	大	大	茎長は短茎。分枝数多く、着莢数も多い。耐倒伏性は強。密植適応性並びに晩播適応性高い。ウイルス病抵抗性強。紫斑病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。極小粒で品質良。納豆加工適性良好。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中 生	タ ン レ イ	農林2号×東山6号(シロメユタカ) (長野県中信農試, 昭53)	昭 53	基 幹	7. 31	10. 25	中 間 型	77	4. 4	15. 3	円	有 限	白	紫	褐	中	33. 3	楕 円	黄	黄	358	45. 3	19. 4	21. 5	中 の 上	中	強	注 6 や や 弱	大	大	茎長は中茎。主茎節数、分枝数やや少ない。繁茂量多いが耐倒伏性は極強。多肥条件は早播に適し、密植適応性並びに晩播適応性大。立枯性病害抵抗性強。紫斑病の発生多い。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。中粒で粒揃い良く品質良。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中 生	あやこがね ^{注3}	東山124号(ホウレイ)×エンレイ (長野県中信農試, 平11)	平 11	基 幹	7. 27	10. 21	中 間 型	91	4. 3	16. 5	円	有 限	白	紫	褐	中	35. 1	球	黄	黄	351	45. 3	19. 4	21. 7	中 の 上	強	中	中	中	大	茎長は中茎。主茎節数・分枝数ともやや少ない。耐倒伏性は強。晩播適応性が高い。ウイルス病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。立枯性病害抵抗性・紫斑病抵抗性中。やや大粒で品質良。豆腐・味噌加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中 の 晩	タ チ ナ ガ ハ	東山61号×東山系G627 (長野県中信農試, 昭61)	平 8	特 定	7. 31	11. 02	中 間 型	81	5. 1	15. 7	長 中 間	有 限	白	紫	褐	中	38. 6	楕 円	黄	黄	401	43. 2	20. 2	22. 0	中 の 上	中	中	強	中	中	茎長は中茎。分枝数やや少ない。ウイルス病抵抗性中だがウイルスの系統によっては抵抗性がない。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。立枯病害抵抗性中。紫斑病抵抗性強。やや大粒で品質良。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	中 の 晩	きぬさやか ^{注4}	刈系508号×刈交0459F1 (東北農研, 平17)	平 18	特 定	7. 25	10. 16	中 間 型	76	4. 9	15. 2	円	有 限	白	白	中	中	28. 5	球	黄 白	黄	391	43. 4	19. 3	23. 2	中 の 上	強	や や 強	や や 強	中	中	茎長は中茎。分枝数中程度。耐倒伏性は強。ウイルス病抵抗性強。ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。立枯病害抵抗性・紫斑病抵抗性ともにやや強。中粒で品質良。青臭みの原因であるリポキシゲナーゼとグルーブAアセチルサボニンを欠失しており、豆乳・豆腐加工に適する。	山間高冷地を除く 県下一円
大豆	晩 生	ミ ヤ ギ シ ロ メ	岩沼在来種の系統分離 (宮城農試, 昭36)	昭 36	基 幹	8. 04	11. 08	中 間 型	104	5. 5	16. 5	円	有 限	白	紫	淡 褐	中	44. 1	や や 楕 円	黄 白	黄	400	43. 9	18. 7	23. 7	中 の 上	中	弱	強	小	小	茎長は長茎。初期生育旺盛、分枝数やや少ないが開張性、本葉大きく受光体勢不良で蔓化・倒伏しやすい。紫斑病抵抗性強。立枯性病害・ダイズシストセンチュウ抵抗性弱。極大粒で品質良。	県下平坦地帯

注1) 特性表のデータは、過去5か年(平成29~令和3年)の優良(奨励)品種決定調査結果の平均値。

注2) 「すずほのか」は、平成16~19年(6月下旬播きの晩播栽培)のデータ。

注3) 「あやこがね」は、平成25~29年のデータ。

注4) 「きぬさやか」は、平成27年のみのデータ。

注5) 「*」印を付した項目は「だいず種苗特性分類」(農林水産省)によるもので、品種採用時の表記方法を用いているため、採用年次により同一特性でも表記が異なる場合がある。

注6) 「タンレイ」の紫斑病抵抗性は「だいず種苗特性分類」(農林水産省)では「中」だが、県内発病程度を考慮し「やや弱」としている。

X V 優良品種特性表(麦類)

(H28~R2)

種 類	早 晩 性	品種名	来歴 (育成場所, 育成年次)	採 用 年 次	奨 励 品 種 区 分	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	* 芒 の 長 短	* 株 の 開 閉	* 穂 発 芽 性	* 脱 粒 性	* 秋 播 性 程 度	原 麦			品 質 (60%粉)			外 観 品 質	諸抵抗性							概 要
																千 粒 重 (g)	容 積 重 (g/L)	10a 当 た り 収 量 (kg)	粗 蛋 白 含 有 率 (%)	灰 分 (%)	色 相 白 度		* さ び 病	* う ど ん こ 病	赤 か び 病	* 凍 上 害 抵 抗 性	* 耐 寒 性	* 耐 雪 性	耐 倒 伏 性	
小麦	早生	あおばの恋	(関東105号×Veery'S')F ₁ ×西海171号 (農研セ, 平20)	平20	特定	5.2	6.18	75	7.5	486	やや長	中	かなり難	中	Ⅱ	42.2	829	558	9.5	0.49	85	中の上	中	やや弱	やや弱	弱	—	—	中	早生。中稈で耐倒伏性は中。製粉歩留まりが高く、アミロース含量がやや低く製麺適性が優れる。
小麦	中の早	シラネコムギ	北陸49号×東海80号 (長野農試, 昭61)	平元	基幹	5.6	6.21	79	7.6	416	中	閉	難	中	Ⅳ	41.3	831	529	9.1	0.4	83	中の上	中	やや強	中	強	やや強	中	強	中稈・強稈で草型も良く、耐寒雪性は強。穂発芽性は難。加工適性が高く、麺用粉として食味も良好である。
小麦	中の早	夏黄金	関東123号×東北214号のF ₁ ×関東123号×東北209号のF ₁ ×もち盛系C-3170a (東北農研センター, 平28)	平28	基幹	5.6	6.21	76	8.2	453	極短	やや開	難	中	Ⅴ	39.2	827	528	10.8	0.46	83	中の上	中	中	中	強	強	中	強	中稈・強稈で耐倒伏性は強。凍上害抵抗性、耐寒性は強。穂発芽性は難。赤かび病抵抗性は中。製パン適性が高く、中華麺にも適する。

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(平成28~令和2年)*印の特性は「小麦種苗特性分類」(農林水産省)による。
注2) 品質(60%粉)のデータはあおばの恋は平成16~18年, シラネコムギは平成29年, その他は平成25~29年の調査結果による。

種 類	早 晩 性	品種名	来歴 (育成場所, 育成年次)	採 用 年 次	奨 励 品 種 区 分	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	* 芒 の 長 短	* 株 の 開 閉	* 穂 発 芽 性	* 脱 粒 性	* 秋 播 性 程 度	玄 麦			品 質			外 観 品 質	諸抵抗性							概 要
																千 粒 重 (g)	容 積 重 (g/L)	10a 当 た り 収 量 (kg)	硝 子 率 (%)	55 % 搗 精 白 度	炊 飯 白 度		* さ び 病	* う ど ん こ 病	赤 か び 病	* 凍 上 害 抵 抗 性	* 耐 寒 性	* 耐 雪 性	耐 倒 伏 性	
大麦	早生	シュンライ	ミノリムギ×東山皮68号 (長野農事試, 平2)	平3	基幹	4.25	6.5	89	3.8	454	やや長	閉	易	中	Ⅰ	38.9	697	584	50.3	46.6	37	中の上	—	やや弱	やや弱	強	やや強	中	強	中稈・強稈で草型も良く耐倒伏性強。赤かび病、うどんこ病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は中。
大麦	中の早	ホワイトファイバー	東山系籾437×東山皮96号 (長野農試, 平27)	平28	特定	4.25	6.6	90	4.3	443	長	中	中	中	Ⅰ Ⅱ	37.4	686	554	31.2	46.9	34	中の上	—	やや強	やや弱	中	やや強	強	やや強	中稈で耐倒伏性はやや強。赤かび病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は強。もち性。
大麦	中生	ミノリムギ	東山皮1号×コウゲムギ (長野農試, 昭44)	昭44	基幹	4.29	6.8	99	4.1	482	長	中	やや易	やや易	Ⅳ Ⅴ	36.5	684	593	47.4	47.6	35	中の上	中	強	中	強	強	強	やや強	多収、長稈で株がやや開き、耐倒伏性はやや強。赤かび病は中。耐寒性・耐雪性は強。

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(平成28~令和2年, ただし「ホワイトファイバー」は平成25~29年, 令和2年)*印の特性は「大麦種苗特性分類」(農林水産省)による。
注2) 品質のデータは平成25~29年の調査結果による。

XVI 水稻優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次		平成28年産			平成29年産			平成30年産			令和元年産			令和2年産			令和3年産		
品 種	項 目	作付面積	作付割合		作付面積	作付割合													
			A	B		A	B		A	B		A	B		A	B			
うるち	やまのしずく	46	0.1%	0.1%	45	0.1%	0.1%	30	0.1%	0.1%	34	0.1%	0.1%	36	0.1%	0.1%	8	0.014%	0.014%
	ササニシキ	3,799	6.4%	6.2%	3,751	6.6%	6.4%	3,534	6.4%	6.2%	3,447	6.1%	5.9%	3,479	6.0%	5.9%	3,933	6.8%	6.7%
	ひとめぼれ	46,542	78.3%	75.7%	44,285	78.1%	75.5%	42,218	76.2%	73.7%	43,887	77.1%	75.0%	43,988	75.8%	74.0%	42,509	73.7%	71.9%
	まなむすめ	3,449	5.8%	5.6%	2,784	4.9%	4.7%	2,831	5.1%	4.9%	2,532	4.4%	4.3%	2,941	5.1%	4.9%	2,895	5.0%	4.9%
	だて正夢	—	—	—	—	—	—	287	0.5%	0.5%	608	1.1%	1.0%	841	1.4%	1.4%	860	1.5%	1.5%
	げんきまる	882	1.5%	1.4%	823	1.5%	1.4%	1,050	1.9%	1.8%	983	1.7%	1.7%	1,046	1.8%	1.8%	1,105	1.9%	1.9%
	トヨニシキ	140	0.2%	0.2%	131	0.2%	0.2%	123	0.2%	0.2%	114	0.2%	0.2%	102	0.2%	0.2%	122	0.2%	0.2%
	コシヒカリ	716	1.2%	1.2%	517	0.9%	0.9%	615	1.1%	1.1%	573	1.0%	1.0%	580	1.0%	1.0%	543	0.9%	0.9%
	つや姫	3,427	5.8%	5.6%	3,772	6.7%	6.4%	3,986	7.2%	7.0%	4,085	7.2%	7.0%	4,378	7.5%	7.4%	5,008	8.7%	8.5%
	東北194号	175	0.3%	0.3%	296	0.5%	0.5%	278	0.5%	0.5%	232	0.4%	0.4%	220	0.4%	0.4%	251	0.4%	0.4%
	蔵の華	146	0.2%	0.2%	154	0.3%	0.3%	148	0.3%	0.3%	153	0.3%	0.3%	172	0.3%	0.3%	162	0.3%	0.3%
	ゆきむすび	48	0.1%	0.1%	67	0.1%	0.1%	58	0.1%	0.1%	61	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%
	たきたて	63	0.1%	0.1%	56	0.1%	0.1%	0	0.0%	0.0%	37	0.1%	0.1%	35	0.1%	0.1%	30	0.1%	0.1%
	金のいぶき	—	—	—	—	—	—	235	0.4%	0.4%	156	0.3%	0.3%	117	0.2%	0.2%	212	0.4%	0.4%
	その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	計	59,429	100%	96.7%	56,681	100%	96.6%	55,390	100%	96.7%	56,902	100%	97.2%	57,994	100%	97.6%	57,701	100%	97.6%
もち	ヒメノモチ	41	2.0%	0.1%	65	3.3%	0.1%	49	2.6%	0.1%	53	3.2%	0.1%	22	1.5%	0.0%	30	2.1%	0.0%
	みやこがねもち	1,955	96.9%	3.2%	1,887	95.5%	3.2%	1,832	96.4%	3.2%	1,577	95.8%	2.7%	1,412	97.5%	2.4%	1,344	96.7%	2.3%
	こもちまる	22	1.1%	0.0%	23	1.2%	0.0%	20	1.0%	0.0%	16	1.0%	0.0%	15	1.0%	0.0%	16	1.2%	0.0%
	計	2,018	100%	3.3%	1,975	100%	3.4%	1,900	100%	3.3%	1,645	100%	2.8%	1,448	100%	2.4%	1,389	100%	2.4%
合 計		61,446	—	100%	58,656	—	100%	57,289	—	100%	58,547	—	100%	59,442	—	100%	59,090	—	100%

注1) 作付割合のAは、うるち及びもち種別内の作付面積割合。Bはうるち及びもち種合計の作付面積割合。

2) 平成18年以降の作付面積は、種子供給量(公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部)を面積換算(4kg/10a)した。合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

XVII 大豆優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%) (面積:ha, 割合:%)

年次		平成28年産		平成29年産		平成30年産		令和元年産		令和2年産		令和3年産	
		作付面積 (ha)	作付割合 (%)										
大豆	ミヤギシロメ	4,452	39.4%	4,726	42.2%	4,665	43.6%	5,137	46.7%	5,076	47.0%	5,557	50.5%
	タンレイ	2,723	24.1%	2,613	23.3%	2,622	24.5%	2,640	24.0%	2,700	25.0%	2,288	20.8%
	タチナガハ	3,243	28.7%	3,293	29.4%	2,825	26.4%	2,695	24.5%	2,462	22.8%	2,607	23.7%
	あやこがね	316	2.8%	258	2.3%	235	2.2%	198	1.8%	199	1.8%	154	1.4%
	きぬさやか	102	0.9%	101	0.9%	96	0.9%	77	0.7%	113	1.0%	103	0.9%
	すずほのか	136	1.2%	127	1.1%	139	1.3%	110	1.0%	110	1.0%	100	0.9%
	その他	294	2.6%	78	0.7%	118	1.1%	143	1.3%	140	1.3%	191	1.7%
	合計	11,300	100%	11,200	100%	10,700	100%	11,000	100%	10,800	100%	11,000	100%

注1) 作付面積は東北農政局統計情報部資料とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率をもとに算出。

注2) 令和3年産の作付面積は、令和3年10月26日公表の速報値に基づく。

XVIII 麦類優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年次		平成28年産			平成29年産			平成30年産			令和元年産			令和2年産			令和3年産		
品 種	項 目	作付面積	作付割合		作付面積	作付割合		作付面積	作付割合		作付面積	作付割合		作付面積	作付割合		作付面積	作付割合	
			A	B		A	B		A	B		A	B		A	B			
大麦	ミノリムギ	300	28.6%	13.5%	318	30.0%	14.1%	336	28.7%	14.8%	292	25.2%	12.8%	211	18.2%	9.3%	275	21.5%	11.5%
	シュンライ	735	70.0%	33.0%	723	68.2%	32.0%	814	69.6%	35.9%	667	57.5%	29.1%	675	58.2%	29.9%	527	41.2%	22.1%
	ホワイトファイバー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	181	15.6%	7.9%	247	21.3%	10.9%	431	33.7%	18.0%
	その他	15	1.4%	0.7%	19	1.8%	0.8%	20	1.7%	0.9%	20	1.7%	0.9%	27	2.3%	1.2%	47	3.7%	2.0%
	計	1,050	100.0%	47.1%	1,060	100.0%	46.9%	1,170	100.0%	51.5%	1,160	100.0%	50.7%	1,160	100.0%	51.3%	1,280	100.0%	53.6%
小麦	シラネコムギ	683	57.9%	30.6%	700	58.3%	31.0%	613	55.7%	27.0%	728	64.4%	31.8%	603	54.8%	26.7%	582	52.4%	24.4%
	夏黄金	—	—	—	—	—	—	—	—	261	23.1%	11.4%	363	33.0%	16.1%	406	36.6%	17.0%	
	あおばの恋	110	9.3%	4.9%	119	9.9%	5.3%	132	12.0%	5.8%	124	11.0%	5.4%	116	10.5%	5.1%	105	9.5%	4.4%
	その他	22	1.9%	1.0%	31	2.6%	1.4%	33	3.0%	1.5%	10	0.9%	0.4%	16	1.5%	0.7%	17	1.5%	0.7%
	計	1,180	100.0%	52.9%	1,200	100.0%	53.1%	1,100	100.0%	48.5%	1,130	100.0%	49.3%	1,100	100.0%	48.7%	1,110	100.0%	46.4%
合 計		2,230	100%	100%	2,260	100%	100%	2,270	100%	100%	2,290	100%	100%	2,260	100%	100%	2,390	100%	100%

注1) 作付割合のAは、大麦及び小麦別の作付面積割合。Bは大麦及び小麦合計の作付面積割合。

2) 平成18年以降の作付面積は、統計上の作付面積から麦類の播種状況調査結果より換算。

3) 令和3年産の面積は令和3年11月30日公表の速報値。